

令和3年度 事業実績報告書



令和4年3月5日に開催した、いきいきサポーター養成講座の様子

ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

三沢市社会福祉協議会

目 次

議案第1号	令和3年度事業実績報告について	1
I	令和3年度 会の組織並びに運営	
1	組 織	2～6
2	運 営	7～8
II	令和3年度 主な事業内容	
I	地域福祉活動推進部門	9～26
II	福祉サービス利用支援部門	27～33
III	在宅福祉サービス部門	34～45
IV	受託施設・運営施設サービス部門	46～47
V	法人運営部門	48～54
III	令和3年度 年間行事・会議 一覧表	55～58
IV	自己評価	59～64
IV	令和3年度 ワークランドつばさ事業報告書	別冊
V	令和3年度 受託事業（児童館）実績報告書	別冊

令和3年度 事業実績報告について

昨今、急速に進行する少子高齢と人口減少、更には家族形態や就労形態の多様化により、地域社会の様相は大きく変化しています。そして、それらを背景とする生活課題も複雑多様化し、解決の難しい課題も多く発生しています。そのような状況の解決に向けた取り組みが急務とされる状況でありながらも今般の新型コロナウイルス感染症の広がりによって、地域活動やボランティア活動の自粛や制限が求められ、様々な地域福祉活動が停滞し、孤独や孤立、困窮の増加が深刻な事態となっています。

そのような状況の中、三沢市社会福祉協議会では、「支えあい助けあい誰もがいきいきと暮らせる三沢」を基本理念とし、コミュニティワークや個別支援の実践を基盤に、関係機関や地域の皆様と連携し地域福祉活動の推進に取り組んで参りました。

重点事業に掲げた「地域きずな支えあい生活支援体制整備事業の推進」については、新型コロナの影響で地域座談会の開催は見合わせたものの、感染予防に留意しての定例会議や地域福祉推進セミナーの開催、オンライン形式による研修参加など、工夫しながら事業を進めることができました。また、新規事業として住民参加による有償型生活支援サービス実施のためのサポーター養成講座を実施することができました。

重点事業の二つ目に掲げた「会いたい応援プロジェクト」についても、移動や交流活動が制限される中、オンラインで顔を見ながら家族と繋がることができると、大変好評を得ております。

大規模な行事に関しては中止や縮小せざるを得なかったものもありましたが、日々の活動については感染対策に最大限留意し、工夫を凝らして事業の継続実施を基本姿勢として取り組んでまいりました。

同様に、就労継続支援 B 型事業所「ワークランドつばさ」及び指定管理受託事業の、児童館・児童センター6 館及び児童クラブ 1 館、いきいきデイセンターにつきましても、いずれも感染リスクが高い活動ではありますが、安全安心を第一に関係機関と連携し、感染予防を徹底して取り組みました。

以上、令和3年度三沢市社会福祉協議会事業実績の概略報告といたします。

令和4年6月8日提出

社会福祉
法人 三沢市社会福祉協議会

会長 黒田 進 二

I 令和3年度 会の組織並びに運営

1 組 織

(1) 理 事(定数10~15名)

任期 令和3年6月24日~5年度定時評議員会まで

会 長	黒 田 進 二			
副 会 長	沼 田 石	川 畑 好 弘		
理 事	村 井 貞 造	齊 藤 淳	苫米地 守	
	林 光 利	伊 澤 夕 ネ	山 本 富士子	
	蛭 名 義 正	(3.6.23付 退任)		
	大 森 和 子	(3.6.24付 就任)		
	田面木 るり子	(3.3.31付 退任)		
	山 崎 徹	(3.6.24付 就任)		
常務理事	河 村 一 典			

(2) 監 事(定数3名)

任期 令和3年6月24日~5年度定時評議員会まで

中 村 憲 一	宮 崎 倫 子	
三 瓶 政 行	(3.6.23付 退任)	
宮 古 健 一	(3.6.24付 就任)	

(3) 評 議 員(定数20~30名)

任期 令和3年6月24日~7年度定時評議員会まで

冨 田 玲 子	柏 崎 美 江	山 村 正 彦
沼宮内 千 春	小笠原 力	藤 田 光 彦
岩 間 俊 悦	出 戸 勝	高 橋 等
沼 田 弘 子	高 松 朝 子	立 花 肇
小 西 史 人	沼 山 誠	浄法寺 雪 雄
家 永 勝 彦	安 田 勝 位	

■ 退 任 (3.6.23付)

小笠原 周 一	種 市 廣	土 屋 園 子
坂 本 幸 子	大 森 和 子	木 村 弘 子
吉 村 聖 毅	野 川 剛	

■ 就 任(3.6.24付)

鹿 田 修	河 村 昭 彦	田 中 静 香
-------	---------	---------

田 中 治 子 萩 原 信 昭 福 井 昌 雄
種 市 俊 之 山 内 修 一

① 評議員選任・解任委員会 (5名)

任期 令和2年6月23日～令和6年度定時評議員会まで

委員長 菊池弘義
委員 山本紀雄 中岫光子 宮崎倫子
三瓶政行 (3.6.23付 退任)
宮古健一 (3.6.24付 就任)

② 地域福祉部会 (18名)

任期 令和2年8月1日～令和4年7月31日

部会長 川畑好弘
副部会長 伊澤夕ネ
部会員 沼田石 林光利 柏崎美江
富田玲子 藤田光彦 沼宮内千春
小笠原力 坂本幸子 沼田弘子
蛭名義正 岩間俊悦 木村弘子
高松朝子
■ 退任 (3.7.31付)
小笠原周一 梅津康義
■ 就任 (3.8.1付)
鹿田修 河村昭彦 福井昌雄

③ 三沢市助け合い金庫運営委員会 (4～6名) 再編および廃止検討

④ 三沢市社会福祉協議会表彰審査委員会委員 (10名)

任期 令和2年10月1日～令和4年9月30日

委員長 立花肇
委員 沼田石 川畑好弘 伊澤夕ネ
林光利 出戸勝 沼田弘子
坂本幸子 大森和子
田中誠 (3.3.31付 退任)
佐々木裕仁 (3.4.1付 就任)

⑤ 三沢市地域福祉活動振興福祉基金（愛の輪基金）運営委員会（6名）

任期 令和2年4月2日～令和4年4月1日

委員長 沼田 石

委員 川畑 好弘 川守田 光雄 福田 妙子

小比類巻 雅祥

工藤 雅則（3.4.1付 退任）

篠田 浩一（3.4.2付 就任）

⑥ 苦情解決処理第三者委員（5名） 任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

中嶋 光子 栗澤 洋子 山本 ツル

菊池 弘義 山本 紀雄

⑦ ふれあい相談所

◎ 専門相談員【法律相談員】 浅石 晴代 弁護士

⑧ 日常生活自立支援事業生活支援員（三沢市社協非常勤職員として委嘱）

三沢市（2名） 須藤 優喜子 谷口 徳子

六戸町（3名） 馬淵 紀子 村上 至 佐々木 八重子

横浜町（2名） 上野 洋子 北館 栄美（3.4.1付）

六ヶ所村（1名） 葛西 満

※ 事業ボランティア

§ 配食ボランティア（6人）

桑 幸子 竹迫 のゑ 杉本 弘子 大湊 政五郎

小笠原 明代 小池 恵理香（4年2月で活動終了）

§ 安心電話ふれあいテレフォンボランティア（3人）

高松 朝子 松橋 信子 大森 スズエ

(5) 職員（総数 67名）

① 事務局

事務局長 河村 一典（いきいきデイセンター所長兼務）

次長兼総務管理課長 法量 正彦 地域福祉課長 渡辺 恵

主事 種市 順功 主事 川畑 恵美子

主事 田中 まい 嘱託職員 成田 輝義

嘱託職員 古館 恒信 臨時職員 山本 直子

臨時職員 小泉 真琴（3.4.5付 採用）

嘱託職員 中居宏行 (4.3.31付退職)
 臨時職員 モンクリーフ理英 (3.6.30付退職)
 臨時職員 田中敏恵 (3.4.5付採用 3.6.30付退職)
 臨時職員 山口貴弘 (3.9.1付採用 4.3.31付退職)

② 児童館職員

ア 松原児童センター 昭和57年受託

館長 水野英子 児童厚生員 秋田静枝
 障害児支援員 佐藤より子 (4.3.31付退職)
 放課後児童支援員 音喜多幸江 放課後児童支援員 青山夕海
 放課後児童支援員 高橋亜希 体力増進指導員 水野昭江

イ 木崎野児童クラブ 平成17年受託

館長 松田睦子 児童厚生員 杉澤美由紀
 障害児支援員 種市亜希 放課後児童支援員 中塩あゆみ
 放課後児童支援員 中塩由佳
 放課後児童支援補助員 高橋喜美夫 (3.4.26付採用 4.2.28付退職)

ウ 岡三沢児童館 平成9年受託

館長 山本紀雄 主任児童厚生員 木村知穂
 臨時児童厚生員 岩舘可南夢 障害児支援員 大沢敦子
 放課後児童支援補助員 高木郁美
 放課後児童支援補助員 安藤真理子 (3.5.17付採用)

エ 古間木児童センター 平成10年受託

館長 山本由美子 児童厚生員 佐藤みどり
 臨時児童厚生員 蛭名美香 障害児支援員 相馬清子
 放課後児童支援員 田名部真知子 体力増進指導員 藤川厚子

オ 上久保児童センター 平成15年受託

館長 黒田一江 児童厚生員 岩舘由子
 臨時児童厚生員 佐々木菜央美 (3.12.31付退職)
 障害児支援員 沼宮内福子 体力増進指導員 新山みどり
 放課後児童支援員 若崎律子

カ おおぞら児童センター 平成 20 年受託

館 長	十文字 由貴子	主任児童厚生員	木村 友里
児童厚生員	明戸 怜子	臨時児童厚生員	玉澤 美穂子
体力増進指導員	青池 優子	障害児指導員	下沢 知里
放課後児童支援補助員	川崎 祐斗	(3.11.22付採用)	4.3.31付退職)

キ 岡三沢児童クラブ 平成 27 年受託

館 長	南 英文	放課後児童支援員	甲地 美智子
放課後児童支援員	高坂 明子	(4.3.31付退職)	
障害児指導員	大河原 直子		

③ ワークランドつばさ 平成 8 年開設

所長兼サービス管理責任者	石川原 一男	職業指導員	佐藤 秋穂
職業指導員	附田 克之	栄養士	熊澤 知子
臨時生活支援員	田中 貴子	(再雇用2年目)	
臨時職業指導員	近藤 涼子		
調理員(パート)	松本 玉枝	(再雇用3年目)	
調理補助員(パート)	武田 祐美子	(3.12.6付採用)	
嘱託医	樋口 茂樹		

④ いきいきデイセンター 平成 31 年受託

介護補助員	門脇 明美	介護補助員	大久保 奈都子
介護補助員	飯田 雅子		
介護補助員	神代 淳子	(3.4.5付採用)	
調理員	小比類 卷千賀子	調理員	岩脇 裕起
調理員	芋田 望奴架	(3.10.31付退職)	
看護師	別部 宏恵	(3.4.1付採用)	
看護師	河村 鈴子	(3.5.1付採用)	4.3.31付退職)

2 運 営

(1) 理 事 会

開催日・会場	議 案	出 席
3年度 第1回(第177回) 6月10日 総合社会福祉センター (多目的ホール3・4)	(1) 令和2年度事業実績報告について (2) 令和2年度決算報告について (3) 監査結果報告について (4) 三沢市社会福祉協議会役員候補者の選任について (5) 三沢市社会福祉協議会評議員候補者の選任について (6) 三沢市社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集事項 (7) 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第一次)について (8) 就労継続支援B型事業所ワークランドつばさ空き缶分別プレス機修理の業務発注について (9) 令和3年度定時評議員会の招集事項について	<u>理 事</u> 出席 9名 欠席 2名 <u>監 事</u> 出席 3名
3年度 第2回(第178回) 6月24日 国際交流教育センター (研修室1)	(1) 三沢市社会福祉協議会会長、副会長の選定について (2) 三沢市社会福祉協議会常務理事の選定について (3) 社会福祉法人 三沢市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について	<u>理 事</u> 出席 11名 欠席 1名 <u>監 事</u> 出席 3名
3年度 第3回(第179回) 決議があったものとみなされた日 3月10日 ※新型コロナウイルス感染 拡大予防のため、決議の省 略により実施	(1) 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第二次)について (2) 嘱託職員等就業規則の一部改正について (3) 給与規程の一部改正について (4) 就労継続支援B型事業所ワークランドつばさ管理運営規程の一部改正について (5) 法人後見業務の実施について (6) 令和4年度事業計画について (7) 令和4年度一般会計資金収支予算について (8) 令和3年度第2回評議員会の招集事項について	<u>12名全理事</u> から同意書 の提出 <u>3名全監事</u> から確認書 の提出

(2) 評 議 員 会

開催日・会場	議 案	出 席
3年度 定時評議員会 6月24日 国際交流教育センター (研修室1)	(1) 令和2年度事業実績報告について (2) 令和2年度決算報告について (3) 監査結果報告について (4) 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第一次)について (5) 社会福祉法人三沢市社会福祉協議会役員の選任について	<u>評議員</u> 出席 15名 欠席 10名 <u>理事</u> 出席 3名 <u>監事</u> 出席 1名

開催日・会場	議 案	出席
3年度 第2回評議員会 決議があったものとみなされた日 3月23日 ※新型コロナウイルス感染 拡大予防のため、決議の省 略により実施	(1) 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第二次)について (2) 嘱託職員等就業規則の一部改正について (3) 給与規程の一部改正について (4) 就労継続支援B型事業所ワークランドつばさ管理運営規程 の一部改正について (5) 法人後見業務の実施について (6) 令和4年度事業計画について (7) 令和4年度一般会計資金収支予算について	25名全評議員から同意書の提出

(3) 監査会

開催日	場 所	監 査 内 容	出 席
5月27日	総合社会福祉センター (多目的ホール3・4)	令和2年度決算に伴う法人会計(本部区分・就労支援・ 児童館・いきいきデイセンター区分)の経理状況並び に業務の執行状況に関する監査	監事 3名 会長他

(4) 地域福祉部会

回	開催日	場 所	議 案	出 席
第1回	10月5日	総合社会福祉 センター (ホール1・2)	1. 第34回三沢市民福祉大会の開催について (1) 日程について (2) 内容について (3) 部会員の役割分担について 2. 三沢市社協マスコットキャラクターの作成に ついて	出席 16名 欠席 2名 会長他
第2回	10月28日	総合社会福祉 センター (ホール1・2)	1. 三沢市社協マスコットキャラクターの選考に ついて 2. 第34回三沢市民福祉大会の開催について	出席 15名 欠席 3名 会長他

(5) 表彰審査委員会

回	開催日	場 所	議 案	出 席
第1回	10月26日	総合社会福祉 センター (研修室3・4)	(1) 第34回三沢市民福祉大会における被表彰者 の選考・審査について	委員 10名 会長他

(6) 愛の輪基金運営委員会

回	開催日	議 案	出 席
第1回	7月2日 国際交流教育センター (研修室2)	(1) 令和2年度基金積立事業の運営状況について (2) 学校図書購入費助成事業について (3) 寄附金の取り扱いについて	委員 4名 会長他

Ⅱ 令和3年度 主な事業内容

I 地域福祉活動推進部門

1 地域きずな支えあい生活支援体制整備事業の実施

日常生活上の支援が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる“多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制”を整備することを目的に、三沢市からの受託事業として平成29年度より実施している。

(1) 地域生活支援コーディネーターの配置による支援体制の協議

① 生活支援コーディネーターの配置

- 生活支援コーディネーター（社協） 3名
- 地域生活支援コーディネーター 15名

② 会議・研修会等への参加によるコーディネーターの資質向上

- 令和3年度青森県生活支援コーディネーター情報交換会 8名
- 令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】 2名
- 令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【実践編Ⅰ・Ⅱ】 各3名
- 三沢市地域ケア会議・在宅介護支援センター部会 2回出席

③ コーディネーター・ミーティング（定例情報交換会）の開催

回数	開催日時	参加者	主な内容
第1回	5月21日（金） 10：00～11：00	コーディネーター10名 市介護福祉課2名 市社会福祉協議会5名	今年度の活動方針、ボランティア活動保険説明、生活支援アンケート結果報告
第2回	6月18日（金） 10：00～11：30	コーディネーター10名 市介護福祉課2名 市社会福祉協議会4名	三沢市軽度生活援助サービス事業・三沢市軽度生活援助事業説明、グループワーク①「住民参加による生活支援サービスのあり方について」

第 3 回	7月16日(金) 10:00~11:30	コーディネーター10名 市介護福祉課1名 市社会福祉協議会2名	事業説明「三沢市のごみ行政について」、グループワーク②「住民参加による生活支援サービスのあり方について」
第 4 回	8月20日(金) 10:00~11:30	コーディネーター12名 市社会福祉協議会2名	グループワーク③「住民参加による生活支援サービスのあり方について」
第 5 回	10月15日(金) 10:00~11:30	コーディネーター12名 市社会福祉協議会2名	情報交換「コロナ下での地域活動について」
第 6 回	12月17日(金) 10:00~11:00	コーディネーター7名 市介護福祉課1名 市社会福祉協議会2名	これまでの取り組みの振り返りと今後の活動についての意見交換
第 7 回	1月21日(金) 10:00~11:30	コーディネーター12名 市介護福祉課1名 市社会福祉協議会2名	三沢市みらいノートの紹介、住民参加による生活支援サービスについて事業要綱の整理

(2) 地域住民への意識啓発のための研修会等の開催

○ 地域きずな生活支援体制整備事業 令和3年度地域福祉推進セミナー

日 時：令和3年11月25日(木) 13:30~15:00

会 場：三沢市国際交流教育センター 研修室1・2

参加者：27名（民生委員12名、在宅介護支援センター4名、
地域生活支援コーディネーター11名）

内 容：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンターの橋本泰典氏を講師に、「コロナ下での地域づくり～日常のつながりや支え合いを発見しよう～」というテーマで、講義とグループワークを実施。

後 援：青森県社会福祉協議会



(3) 地域課題の共有のための「地域きずな座談会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座談会の開催は見送った。

(4) 住民参加による有償型生活支援サービスの事業化

コーディネーター・ミーティングにおいて、これまで研修した県内の事例や他機関の事業を参考に、三沢市で取り組む有償型生活支援サービス事業の概要について議論を重ね、実施要綱を作成。新年度からの事業開始に向けて、担い手養成講座を開催した。

○ 住民参加による有償型生活支援サービス「いきいき生活サポート事業」

令和3年度いきいき生活サポーター養成講座

日 時：令和4年3月5日（土）10：00～15：00

会 場：三沢市国際交流教育センター 研修室1・2

参加者：17名

内 容：事業説明「住民参加による有償型生活支援サービス

『いきいき生活サポート事業』について」

講義①「コロナ下での地域のつながり」

講師 全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進センター主幹 橋本 泰典 氏

講義②「高齢者の心と体、認知症の正しい理解」

講師 三沢市福祉事務所介護福祉課包括支援係

保健師 内村 憲司 氏

講義③「ほほえみのコツ～コミュニケーションの初めの一步～」

講師 ほほえみプロデューサー 中村 そが 氏

講義④「ボランティア活動の基礎」

講師 三沢市社会福祉協議会

成 果：令和4年度の事業開始に向け、修了者17名のうち13名に「いきいき生活サポーター」として登録していただいた。



2 第34回三沢市民福祉大会の開催

市民福祉大会では、民生委員・福祉団体等の協力のもと、社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表した。

今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度同様に参集範囲を受賞者と関係者のみに限定した上で、例年行っている記念講演をとりやめ、式典のみの開催とした。

また、中止となった第70回青森県社会福祉大会の受賞者への伝達表彰を併せて行った。

- ① 開催期日 令和3年11月19日(金) 13時00分～14時00分
- ② 開催場所 三沢市公会堂 小ホール
- ③ 開催内容 式典
- ④ 大会表彰者の記録

【社会福祉事業協力者の部】

1 表彰の部

- ・民生委員・児童委員（10年以上） 6名
- ・社会福祉団体・法人（10年以上） 4名
- ・民間社会福祉施設勤務職員（15年以上） 25名
- ・社会福祉事業協力・援助 6名

2 感謝の部

- ・福祉活動援助・協力感謝 1名
- ・社協福祉資金寄附感謝 4団体

【共同募金運動協力者の部】

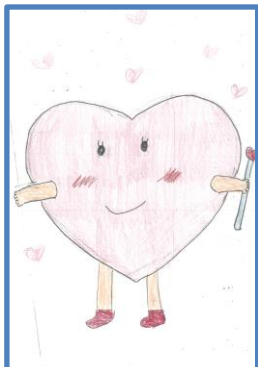
- ・令和2年度中央共同募金会々長感謝 1団体
- ・令和2年度青森県共同募金会々長感謝 2名・4団体
- ・三沢市共同募金委員会会長表彰 1名・2団体

3 三沢市社協マスコットキャラクター入選者表彰

- ・最優秀賞 1名
- ・優秀賞 3名
- ・ハピネス賞・スマイル賞・ファンタジー賞 各1名



最優秀賞「はとまる」



優秀賞 ①「ハーちゃん」



②「愛」



③「福リン」



3 第70回青森県社会福祉大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、受賞者については第34回三沢市民福祉大会において伝達表彰を行った。

① 受賞者（三沢市）

- 民間社会福祉施設 20年以上功労（9名）
- 共同募金 30年以上奉仕功労（19団体）
- 赤い羽根共同募金作文・ポスターコンクール 2021

中学生の部

- ・作文 最優秀賞（1名）
- ・ポスター 努力賞（1名）

4 第16回社協まつりの開催

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

6 ふれあいいきいきサロン「サロンかだれ家」の実施

平成30年度に地域きずな生活支援体制整備事業において実施した調査で、男性からは「男性が楽しめる場が欲しい」、女性からは「男性の参加者を増やしたい」といった声が多く上がった。そこで令和元年10月より、いきいきデイセンターを会場に『サロンかだれ家』を開始した。概ね65歳以上の男女を対象とし、麻雀や花札等の他、ニュースポーツにも挑戦した。スタッフには交代で事務局職員と地域生活支援コーディネーター3名が就いた。

3年目に入り参加人数も徐々に増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により足が遠く参加者もいた。ニュースポーツについては全般的に大変好評で、中でもボッチャはパラリンピック競技としてテレビで観戦したこともあり大変盛り上がりを見せていた。

◎実施状況

第1回	令和3年5月15日(土)	参加人数:20名(内訳	男性9名、女性11名)
第2回	令和3年6月19日(土)	参加人数:19名(内訳	男性9名、女性10名)
第3回	令和3年7月17日(土)	参加人数:18名(内訳	男性8名、女性10名)
第4回	令和3年8月21日(土)	参加人数:16名(内訳	男性7名、女性9名)
第5回	令和3年10月16日(土)	参加人数:15名(内訳	男性5名、女性10名)
第6回	令和3年11月20日(土)	参加人数:13名(内訳	男性5名、女性8名)
第7回	令和3年12月18日(土)	参加人数:14名(内訳	男性5名、女性9名)
第8回	令和4年1月15日(土)	参加人数:12名(内訳	男性4名、女性8名)

※4月・9月・2月・3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。



[ラジオ体操から元気にスタート]



[ラダーゲッターにも挑戦]



[白熱するじゃんけんゲーム]



[回を重ねるごとに上達するボッチャ]



[花札は大人気]



[ささやかな賞品にニコリ]

7 福祉安心電話サービス事業の強化推進

ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心・安全な生活を送るため、緊急通報装置の設置により、地域の見守りネットワークを築き地域生活を支援することを目的に実施している。令和3年度は、設置希望者は減少傾向にあり、施設入所者や家族と同居することによる退会者は増加傾向にあった。

(令和4年3月31日現在)

項 目	内 容
① 会 員 数	52名 (令和4年3月31日現在) 内 訳：○一人暮らし高齢者 51世帯 ○高齢者夫婦世帯 1世帯 (1号会員 52世帯)
② 協 力 員 数	130名 (令和4年3月31日現在)
③ 新 規 入 会 者	《設置状況》 新設 7台 ：5月10日1台・7月20日1台・12月1日2台 1月24日1台・3月16日2台
④ 退 会 者	18名 【退会理由】 転居2名、施設入所10名、逝去6名
⑤ ふれあいテレフォン	活動者数：3名 (ボランティア) ふれあいテレフォン延べ2578人 活動日数：52日 (毎週木曜日) 延べ104人
⑥ 誕 生 日 訪 問	活動回数 59回 プレゼント 誕生日はがき・タオル
⑦ 食 事 サ ー ビ ス	実 施 日：令和3年12月31日 希 望 者： 51名 活 動 者 数：大人9名・子ども4名 (ボランティア) プ レ ゼ ン ト：おせち料理・使い捨てカイロ
⑧ 着 信 状 況 (本会分)	25件 ●内訳： 緊急0件、相談8件(今後も在宅で生活するための相談等) 誤報3件(誤って接触)、報告10件(外出等) 電池交換1件、電話線切れ2件、電話機故障1件
⑨ 着 信 状 況 (県社協分)	18件 ●内訳： 緊急4件、ペンダント1件、停電12件、復電1件 ●対応： 協力員要請3件、消防車を要請2件、停電・協力員要請6件 救急・協力員要請3件、消防を要請2件 停電・協力員要請6件
⑩ 会 議 等	新型コロナウイルス感染拡大により実施ができなかった。

8 「会いたい応援」プロジェクト

令和2年11月から実施。対象者宅にタブレット端末を持参し、インターネット回線のビデオ通話アプリを利用して、遠方の家族や友人等と、対面形式でのコミュニケーションが出来るよう支援した。

利用実績は昨年度ほど多くはなかったものの、利用した高齢者や遠方の家族からは大変喜ばれ、「顔を見て話しができて安心した」「コロナ禍ならではの事業でとてもありがたい」などの感想をいただいた。

○目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、帰省や遠方への移動、人が集まる活動も制限されている状況にあり、遠方の家族や友人とのコミュニケーションの機会や外出の機会が少なくなっている中で、インターネット回線を利用したタブレット端末を用いて、遠方に住む家族等とコミュニケーションを図り、孤独感の解消、家族や友人等とのつながりを支えることを目的に実施している。

○対象者6名 ○実施回数13回

	相手先	居住地		相手先	居住地
1	長女・二女	東京・神奈川	8	二女家族・孫	福島・山形
2	二女	東京	9	二女	東京
3	二女	東京	10	二女	東京
4	二女	東京	11	長男家族・二男家族	岩手
5	二女	東京	12	孫夫婦	静岡
6	長女家族・孫家族	東京	13	二女	東京都
7	長男家族	岩手			

○事業紹介

8月…寺子屋従事者5名（社協窓口にて個別に説明）

10月26～29・11/1…いきいきデイセンター利用者

12月15日…在介部会

9 ボランティアセンターとしての機能充実・整備

(1) ボランティアコーディネート

「ボランティア活動を始めたい」「ボランティアに来てほしい」という個人や団体に対しての相談調整や紹介を行った。また、登録団体の資質向上を目的とした研修会の開催や、円滑な活動を行えるよう情報提供を行った。

令和3年度に寄せられた主な相談は以下の通り。

○企業・個人からのボランティア活動希望に関する相談

- ・個人でボランティアをしてみたいという方には、配食ボランティアを紹介した。
- ・冬期間に職場グループでのボランティア活動の希望があり、一人暮らしの高齢者5世帯の除雪作業を行った。
- ・ボランティア活動を希望する問い合わせはあったものの、新型コロナウイルス感染の影響により活動までつなげる事ができなかった方もいた。

○福祉団体や行政から、行事等へのボランティア協力依頼に関する相談

- ・行事や防災訓練等も新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となり、協力依頼もなかった。

(2) 災害ボランティア研修

例年実施されていた三沢市総合防災訓練における「災害ボランティアセンター運営訓練」について、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(3) ボランティア保険

ボランティア活動中の活動者の補償のため、ボランティア活動保険の加入手続きや事故対応を行った。

① ボランティア活動保険

掛け金	基本プラン 350 円 天災・地震補償プラン 500 円
加入者数	715 名 (32 団体 5 個人)

② ボランティア活動等行事用保険

加入件数	7 件 (1940 名)
------	--------------



(4) 三沢市ボランティア連絡協議会

■ 団体会員 12、個人会員 8

- ・三沢市立図書館ボランティア
- ・三沢手話サークルありんこ
- ・三沢地区更生保護女性会
- ・お助けマンクラブ
- ・精神保健福祉ボランティア「さつき友の会」
- ・楽晴会ボランティアサークル「かけはし」
- ・三沢市食生活改善推進委員会
- ・三沢市赤十字奉仕団
- ・三沢市保健協力会
- ・笑顔の会
- ・大三沢婦人会
- ・青森県立三沢航空科学館ジャンプアップみさわグループ

■ 主催事業

- ① 令和3年度 春のボラ連クリーン大作戦 令和3年4月3日
- ② 三沢市ボランティア連絡協議会 令和3年度第1回理事会 令和3年7月9日
- ③ 三沢市ボランティア連絡協議会 令和3年度総会 書面開催
- ④ 令和3年度 ボラ連クリーン大作戦2 中止
- ⑤ 三沢市ボランティア連絡協議会 令和3年度第2回理事会 令和3年12月16日
- ⑥ ボランティアネットワーク事業 広がれボランティアの“わ”交流会 中止

■ 参加・協力事業

- ① 令和3年度青森県ボランティア連絡協議会総会 書面開催
 - ② 令和3年度青森県ボランティア活動実践セミナー 令和3年6月22日
- ※青森県ボランティア連絡協議会は令和2年度をもって解散したことから、総会については書面開催となった。

■ ボラ連だより（社協だよりに併載）

第22号 令和3年9月1日発行

(5) 収集ボランティアボックス「あつまれボックス」の設置

ボランティアによる手作りの「あつまれボックス」を、三沢市総合社会福祉センターの社協事務所入り口に設置。他に、児童館にそれぞれ設置している。

	収 集 物	活 用 方 法
1	使用済み切手	「誕生日ありがとう運動本部」（知的障害児福祉関連団体）へ送付。※送料は本会負担
2	使用済みプリペイドカード	
3	書き損じはがき	切手と交換し、地域福祉活動事業のために活用。

4	プルタブ	換金し、移送サービス用リクライニング車イスの購入費用に充当。
5	ペットボトルキャップ	換金し、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄附。※事業の見直しにより令和2年度で受け入れ終了
6	インクカートリッジ	回収業者を経て、収益の一部をダルニー奨学金（タイ・ラオス・カンボジア）と本会に寄附。

※ 収集状況については、【別表 2】(P. 21) 参照

(6) ボランティア機材などの貸し出し

町内会や福祉団体等の活動推進を目的に各種機材の貸し出しを行っている。

事務所入り口に設置しているコピー機は、各々コピー用紙を持参して使用してもらい、受領した利用料は寄附金として愛の輪基金に充当、果実である利息とあわせて地域福祉活動等の支援事業に活用している。綿菓子機やポップコーン機等については無料で貸し出しを行っている。

① 令和3年度コピー機利用状況

■ 月別利用状況

月	枚数
4月	2,974
5月	687
6月	2,019
7月	6,937
8月	618
9月	714
10月	120
11月	290
12月	207
1月	782
2月	86
3月	8
合計	15,442

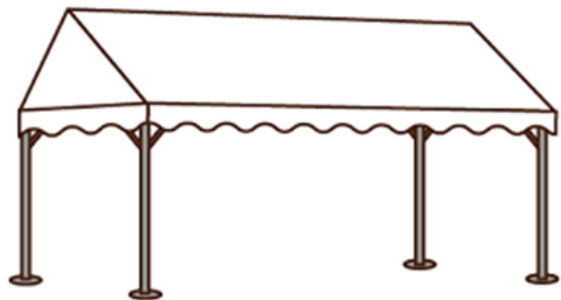
■ 年度別利用状況

年度	枚数	利用料(寄附金額)
21年度	39,689	86,864
22年度	29,782	71,627
23年度	30,208	84,779
24年度	26,907	88,698
25年度	16,849	59,899
26年度	21,144	69,015
27年度	26,942	47,049
28年度	31,165	47,000
29年度	28,820	33,000
30年度	58,700	36,000
令和元年度	16,556	25,000
令和2年度	26,610	24,000
令和3年度	15,442	17,000

② 綿菓子機・ポップコーン機・行事用テントの貸出し状況【別表 1】(P. 20 参照)

令和3年度 備品貸出し実績表

機材名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
綿菓子機	件数				1	1								2
	台数				1	1								2
3台														
ポップコーン機	件数					1		1						2
	台数					1		1						2
2台														
テント	件数	1			1	1	1	1						5
	張数	2			2	2	2	2						10
6張														
合計	件数	1	0	0	2	3	1	2	0	0	0	0	0	9
	台数等	2	0	0	3	4	2	3	0	0	0	0	0	14



令和3年度 収集活動状況一覧表

		区分	件数	数量	協力者	全体協力者	備考
1	使用済み切手	個人	31	18,346	9		「誕生日ありがとう運動本部」 に送付 (今年度発送1回) 令和4年3月23日
		団体	34	56,254	26		
		計	65件	74600枚	35人		
2	プリペイドカード	個人	4	138	2	個人 35人	「誕生日ありがとう運動本部」 に送付 (今年度発送1回) 令和4年3月23日
		団体	0	0	0		
		計	4件	138枚	2人		
3	プルタブ	個人	37	158.2	20	団体 40組	今年度換金額 ¥17,600 令和2年7月からの保有金 ¥174,826
		団体	30	235.5	20		
		計	67件	393.7kg	40人		
4	書き損じハガキ	個人	5	369	3	合計 75人 (組)	切手に交換して、通信用に利用させて頂いています。
		団体	1	132	1		
		計	6件	501枚	4人		
5	ベルマーク	個人	3	—	2		ボランティア推進校で収集活動を実施している古間木小・上久保小・木崎野小・岡三沢小・三沢小の5校へ分配いたしました。
		団体	7	—	6		
		計	10件	—	8人		
6	ペットボトルキャップ	個人	30	73.4	18		「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ送金¥2,310 換金額 ¥2,420 払込加算料金 ¥110 換金量 440kg (計量誤差含む) 令和4年3月30日
		団体	24	363.70	19		
		計	54件	437.10kg	37人		
合計			206件		延 126人		

10 ボランティア団体及び福祉団体の活動支援

多くのボランティア団体や福祉団体が新型コロナウイルス感染拡大を懸念して事業を中止する中、感染防止の対策を行った上で実施した以下の4団体の活動に対して共同募金助成金を活用し支援を行った。

	団 体 名	活 動 内 容
1	三沢市老人クラブ連合会	高齢者相互支援研修会
2	三沢保育事業研究会	保育士研修会
3	大三沢婦人会	米軍婦人会との料理教室及び交流会
4	三沢市ボランティア連絡協議会	クリーン作戦（春季）



1.1 ボランティア推進校の指定による福祉教育の推進と充実

市内小・中学校へ年間 5 万円の活動費を助成するとともに、各種情報提供やボランティア活動に関わる相談対応を行った。

令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染防止のため施設訪問、行事の中止、縮小などが見られたが、それぞれの学校において、内容の工夫を図った活動や地域と連携した取り組みが展開された。また、急激な感染拡大により第 2 回連絡会議は中止した。

○令和 3 年度第 1 回ボランティア推進校連絡会議

令和 3 年 6 月 17 日(木) 三沢市総合社会福祉センター研修室 3~4

出席者 担当教諭 11 校 職員 4 名

○令和 3 年度第 2 回ボランティア推進校連絡会議

新型コロナウイルス感染拡大により中止

ボランティア推進校の主な活動（小学校 7 校・中学校 5 校）

●訪問・交流活動

昔話を聞く会の開催、地域の保育園の行事の運営の手伝い、老人クラブ、施設入居の方々と年賀状のやりとりをするなど交流を図る。

●広報・啓発活動

学校新聞（福祉新聞）、PTA 新聞、委員会だよりなどにボランティア活動の記事を掲載し、地域へ学校だよりを配布することで広報、啓発活動を行う。

社会福祉協議会オリジナルマスコットキャラクター募集の参加。

●体験学習

車椅子体験、高齢者疑似体験、オリパラスポーツ体験学習、自然体験を行う。

手話・点字講習会、いのちの出前授業、ユニバーサルマナー教室の実施。

●清掃・環境美化活動

学校内美化活動、地域・公共施設・自然環境美化活動、地域・公共施設の花壇植樹活動

降雪時の除雪活動、校内整備、ペンキ塗りの奉仕作業の実施。

●意識高揚活動

登校時間のあいさつ運動、廊下や教室に落ちているゴミを拾うなどのちょボラ活動を継続して実施。おもいやり月間を設けやさしい心で接することの大切さを学ぶ。

●学校外行事参加活動

青少年赤十字活動、パラ・青森県の火出立式、リトル JUMP チームへの参加。

●収集・募金活動

赤い羽根、緑の羽根、古切手・プルタブ等の収集活動、廃品回収・空き缶拾い（リサイクル）等、地域の方々に協力してもらい、学校全体で取り組む。

●創作・製作活動

PTA 図書委員会による校内放送での読み聞かせの実施。

1 2 児童・青少年に対する健全育成事業

(1) 車椅子体験学習・高齢者疑似体験学習

総合的な学習の一環として、各学校で取り組んでいる『福祉』についての学習の場で、各学校や企業と連携を図りながら、車椅子体験や高齢者疑似体験、バリアフリー体験などの体験学習を実施した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、換気、使用する車いす、手指などの消毒を実施し車椅子体験と高齢者疑似体験を行った。

車椅子操作や高齢者疑似体験の学習を通して、日常生活で手助けを必要とする場面や声掛けの仕方などで思いやりの気持ちが伝わる等各児童、生徒が思いやりや支えあいの気持ちを考える機会を持つことができた。

高齢者疑似体験の計画を立てていたが新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により高齢者疑似体験が実施できない学校があった。

○実施状況

日 時	学 校 名	内 容	児 童 数
6月9日(水)	岡三沢小学校	車 椅 子 体 験	4 学年 3 クラス 84 名
7月16日(金)	木崎野小学校	車 椅 子 体 験	5 学年 3 クラス 91 名
9月10日(金)	上久保小学校	高 齢 者 疑 似 体 験	4 学年 2 クラス 57 名
9月15日(水)		車 椅 子 体 験	4 学年 2 クラス 59 名

○体験学習の様子



○木崎野小学校車いす体験



○岡三沢小学校車いす体験



○上久保小学校高齢者疑似体験

(2) 地域・児童生徒見守り活動

加速する少子高齢化社会の中で、次代を担う児童生徒を地域の高齢者が中心となり、日常的に自宅付近または、地域の横断歩道で、地域の児童生徒の登下校時に、児童生徒の見守りを目的に挨拶や声掛けを行った。今年度は21の老人クラブが活動したが、会員の高齢化等により活動できる会員の減少が見られた。

*見守り活動実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

*情報交換会：令和3年5月28日（金）11：15～11：45

○意見・感想

- ・見守り活動は登下校時以外の見守りも含めてほしい。
- ・孫のクラスメイトが書いた作文『同級生の祖母の挨拶について』が孫の学級新聞に掲載された。
- ・今後も見守り活動を継続したい。
- ・昨年と同様に今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で公的施設・敷地内での活動自粛があったため活動できない期間があった。
- ・児童たちは元気で、若干の悪ふざけも伴うが、交通ルールもしっかり守り、挨拶も自分たちから積極的にしている。
- ・活動できる会員が減少したため今年度で最後にしたい。



【梅友老人クラブ（R3.6.9）】

*見守り活動の申請をした老人クラブ

- ・松友会老人クラブ ・竹友会老人クラブ ・梅友会老人クラブ ・千寿の会
- ・大町クラブ ・上久保凜凜会 ・西花園会 ・東町はつらつクラブ ・白菊会
- ・こがね町あすなろ会 ・平畑寿会 ・日の出友愛クラブ ・泉クラブ
- ・深谷つどいの会 ・南山いこいの会 ・大津わらび会 ・細谷長寿会
- ・浜三沢あじさいクラブ ・三川目老人クラブ ・前平老人クラブ
- ・六川目百働会



1 3 福祉人材育成事業としての実習生の受け入れと充実

本会では社会福祉士養成のための教育カリキュラムに位置づけられた『ソーシャルワーク現場実習』による実習生をはじめ、職場体験や職場訪問（進路相談）の高校生等の受け入れを行っている。

① 青森県立保健大学 ソーシャルワーク実習 2名

受入期間 令和3年8月2日(火)～9月3日(金) [24日間]

令和3年8月2日(火)～9月28日(火) [24日間]

② 東北福祉大学 社会福祉援助技術実習 1名

受入期間 令和3年10月4日(月)～10月21日(木) [14日間]



II 福祉サービス利用支援部門

1 ふれあい相談事業の実施

(1) 相談種別と開設状況

- ① 一般相談 事務局職員が受けることとし、必要に応じて関係機関と連携を取りながら進めた。

- ② 法律相談 浅石晴代 弁護士と顧問契約を結び、毎月1回、第2火曜日を相談日として実施している。
3年度実施回数 12回 相談件数 19件
※令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてリモートによる相談を実施するなど、感染防止対策を講じて毎月実施したが、相談件数は大きく減少した。

- ③ 福祉相談 一般相談と同様に本会職員による生活福祉資金や助け合い金庫の貸付相談など生活困窮者の相談を中心とした福祉ニーズへの対応を行った。特に新型コロナウイルスに関連する貸付相談はピーク時に比べ減少したものの、前年度に続き相談対応が求められた。

(2) 苦情処理解決に関する事項

第三者委員を5名委嘱し、苦情窓口を設置すると共に委員による社協施設訪問活動を実施し、利用者本位のサービス提供に努めた。

2 日常生活自立支援事業の充実

基幹的社協として県社協から委託を受け、1市3町村を対象に、以下のとおり利用者の日常生活支援を行った。

(1) 活動状況

① 専門員の活動状況（出張等）

市内出張	管内市町村出張	その他県内出張	県外出張
107回	81回	5回（会議・研修等）	なし

② 支援回数

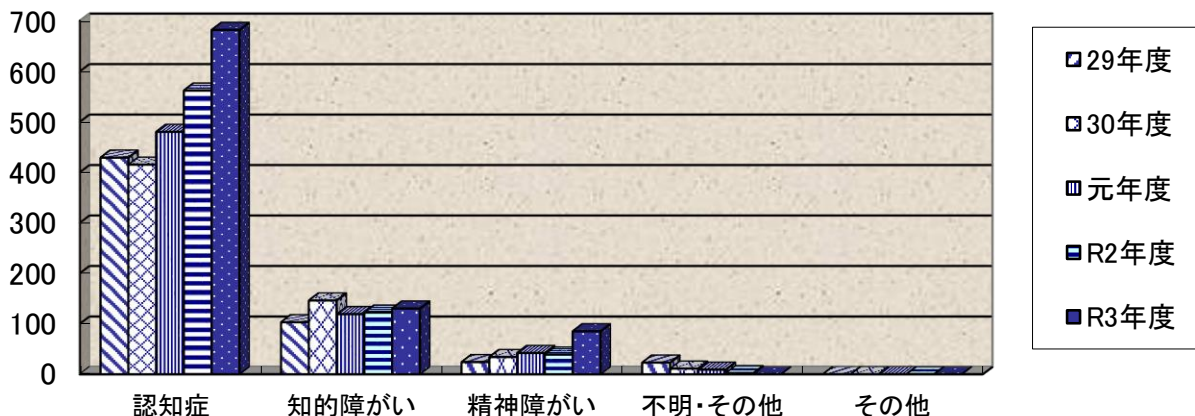
	支援員		専門員		管内社協		世帯別合計	
	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保
小計	252	340	47	32	29	52	328	424
合計	592		79		81		752	

◆有料世帯と生保（生活保護）世帯への支援回数の割合は、有料（44%）、生保（56%）となり、生保世帯の利用が増加となった。

③ 相談・問い合わせ件数

	対象者					合計	
	認知症	知的障がい	精神障がい	不明・その他	その他		
事業開始から前年度まで	4,766	1,049	698	904	53	7,470	
3年度	682	130	85	0	0	897	
内訳	三沢	444	25	59	0	0	528
	六戸	216	66	12	0	0	294
	横浜	10	39	14	0	0	63
	六ヶ所	12	0	0	0	0	12

相談・問い合わせ件数年度比較グラフ



(2) 契約締結状況

① 対象者別契約件数

	認知症		知的障がい		精神障がい		その他		合計	
	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保
事業開始から 前年度まで	68	66	13	7	7	4	8	8	96	85
	134		20		11		16		181	
3年度	3	7	1	0	1	0	0	0	5	7
	10		1		1		0		12	
合計	71	73	14	7	8	4	8	8	101	92
	144		21		12		16		193	

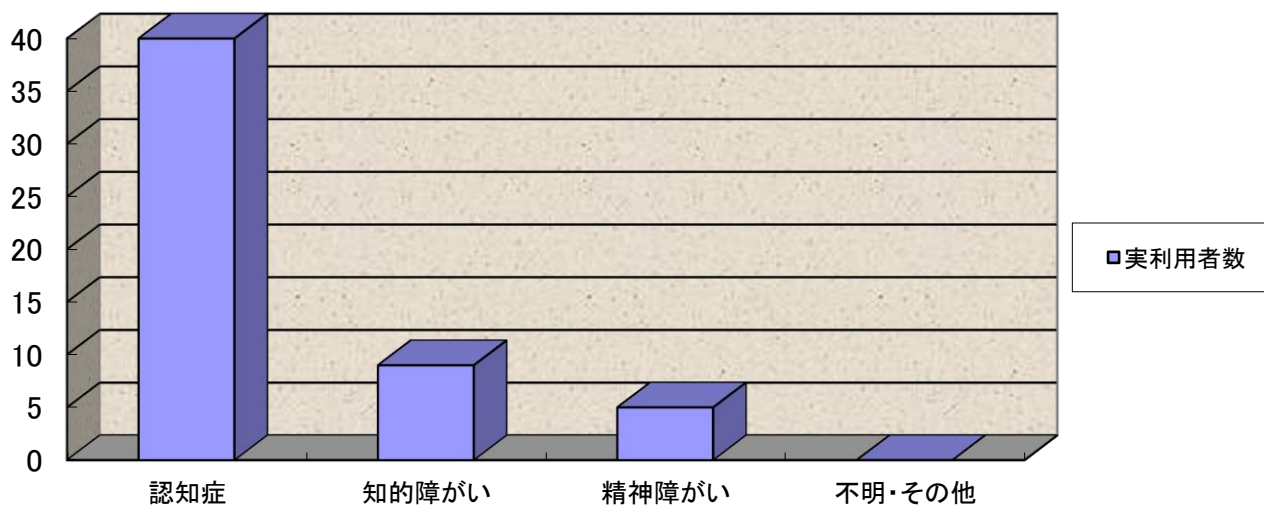
② 解約件数

	認知症		知的障がい		精神障がい		その他		合計	
	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保
事業開始から 前年度まで	47	46	9	2	6	1	8	8	70	57
	93		11		7		16		127	
3年度	5	7	0	0	0	0	0	0	5	7
	12		0		0		0		12	
合計	52	53	9	2	6	1	8	8	75	64
	105		11		7		16		139	

③ 実利用者数

令和4.3.31現在

認知症		知的障がい		精神障がい		その他		合計	
有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保	有料	生保
18	22	5	4	4	1	0	0	27	27
40		9		5		0		54	



3 生活福祉資金貸付事業

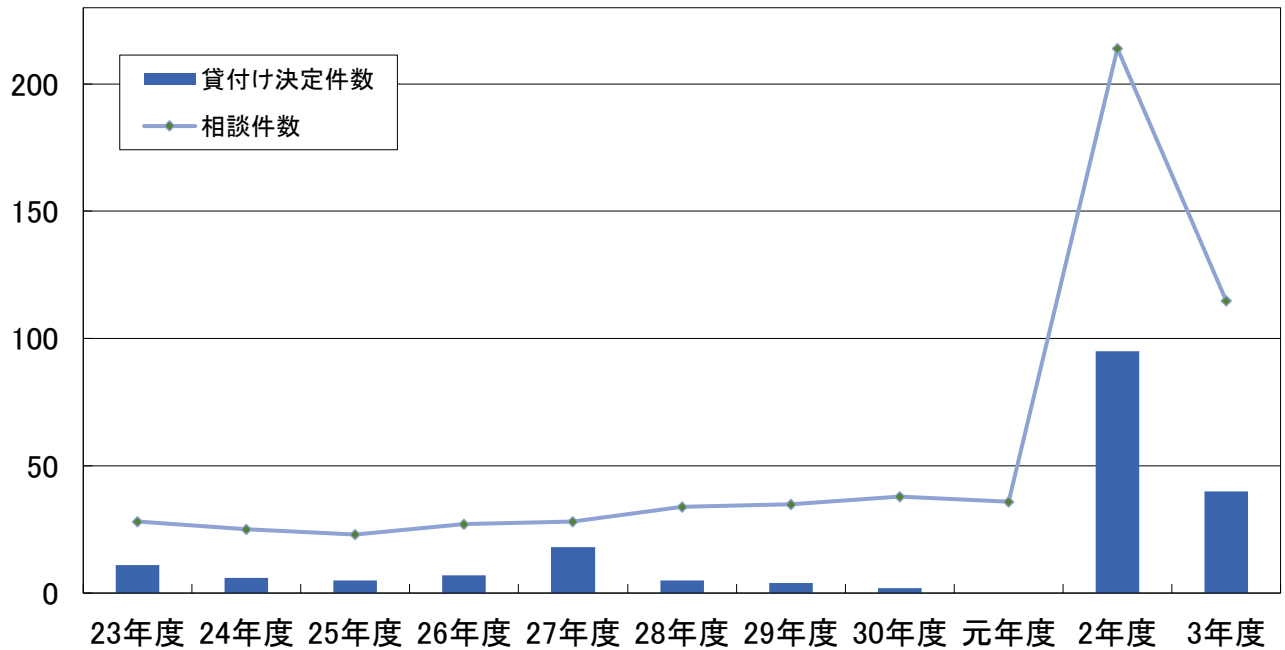
この事業は、低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯を対象とし、資金の貸付とそれに伴う必要な相談支援を行うことにより、その世帯の自立と在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を継続して営めるように支援する貸付制度であり、県社協が実施主体となっている。また、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図るものとなっている。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響によって減収した世帯を対象に「緊急小口資金」及び「総合支援資金」の特例貸付が実施された。貸付要件が緩和され、メディア等で広く周知されたこともあり、これまでにない多くの問い合わせや相談が寄せられた。相談支援を十分行うことができないまま手続きを進めざるを得ない当初の状況からは落ち着いてきてはいるものの、長期化するにつれ相談者の属性や課題の変化、安易な借入れなどの課題も出てきている。いずれにしても、迅速な対応と丁寧な相談支援に努めると共に、必要に応じて他制度も活用し困窮世帯の支援に取り組んだ。

■ 令和3年度 生活福祉資金相談状況

区 分		件 数 (前年度比)	内 訳
延べ相談件数		115件 (-99)	新型コロナの影響による減収 72件 恒常的な生活費の不足 23件 借受中の資金の償還相談 3件 失業等による生活費の相談 13件 その他 4件 (制度に関する問い合わせ等)
内 訳	貸付決定	40件 (-55)	緊急小口資金 2件 緊急小口資金(コロナ特例) 27件 総合支援資金(コロナ特例) 11件
	貸付不承認決定	1件 (-4)	条件対象外
	申し込み非該当等	74件 (-40)	支出の見直しや債務整理等の助言を行い、必要に応じて他制度を活用し支援。

相談件数および貸付決定の推移



■ 令和3年度 償還完了件数 6件

内訳：教育支援資金3件・緊急小口資金2件・総合支援資金1件

■ 令和3年度 償還免除件数 1件（離職者支援資金）

償還免除金額 3,066,848円

免除理由：借受人死亡、連帯借受人・相続人が存在しないことにより

■ 償還指導 例年実施している滞納世帯への面接指導は感染拡大防止のために行わず、滞納状況を文書で通知した。

■ 生活福祉資金貸付総額（令和4年3月31日現在）

・貸付件数	180件	（前年度比	+31件）
・貸付合計	67,684,983円	（前年度比	+3,228,123円）
・償還残高	64,788,107円	（前年度比	+7,947,661円）

■ 償還率（令和3年4月～令和4年3月）

・償還計画額（A）	15,550,413円
・償還実績額（B）	2,596,940円
・償還率（B/A）	16.70%

4 助け合い金庫貸付による自立支援

令和3年度の貸付件数は前年度比10件減の11件、貸付額は315,000円減の270,000円。一方、償還件数は前年度比17件減の17件、償還額は359,000円減の216,000円となった。前年度に比べ全体的に相談件数が減少したものの、「生活保護決定まで」、「年金日までの生活費」といった相談は多く、新型コロナウイルスに起因する相談もあった。

いずれにしても資金の貸付を前提とせず、相談内容に応じてフードバンク事業や新たに加入した『しあわせネットワーク』事業など、他の支援策と合わせ借受人が再び生活困窮とならないよう助言する。また、貸付額は必要最低限の額とし、償還が負担とならず早期に自立が図られるように努めた。

借入相談理由	件数	割合
生活保護費支給までの生活費	5	45.4%
年金受給までの生活費	3	27.3%
新型コロナウイルス関連	1	9.1%
その他（医療費など）	2	18.2%
計	11	100.0%

貸付額	件数	割合
50,000円	1	9.1%
40,000円～50,000円未満	3	27.3%
30,000円～40,000円未満	1	9.1%
20,000円～30,000円未満	1	9.1%
10,000円～20,000円未満	4	36.3%
10,000円未満	1	9.1%
計	11	100.0%

5 緊急特別資金給付制度の廃止・他事業での支援対応

一時的な困窮状態を脱するために必要な資金として給付するもので、返済については余裕ができた際に返してもらうことを条件として、平成16年度から指定寄附を財源に実施している。令和3年度についても該当する相談ケースが無く、また原資増額寄付もなかったことから、原資残額は前年度同額の63,000円となっている。近年では利用対象者も無く、また令和3年度から県社協で実施している『しあわせネットワーク事業』への加入により、他事業での支援方策も増えたことから、令和4年度で本事業の廃止を検討し、今後はしあわせネットワーク事業を中心にフードバンク事業や助け合いギフト券交付事業など、他の事業で対象者の支援を行う。

6 助け合いギフト券交付事業

生活に困窮し、逼迫した状態の相談者に対し、本会が後払いする方式で食品等を購入できるギフト券を交付することにより、支援開始までの生活の担保を目的としている。

他制度の活用及び助け合い金庫等の貸付による支援と併せ、開始までの数日の食事の確保が困難な方を対象としているが、令和3年度において交付実績は無かった。

7 フードバンク事業

生活困窮者の自立支援を目的に、食料品の提供体制を整備した。食料品については、生活協同組合により無償提供されたものの他、県社協の善意銀行への寄贈品からの提供、個人や団体から直接寄せられたものを備え、あわせて、ガス供給停止となっている世帯に対してはカセットコンロの貸し出しも行った。

各種事業において、失業等による生活困窮で食糧支援が必要と判断された相談者や、関係機関からの依頼に対して食料品の無償提供ができた。



○ 提供実績

提供実績	内 訳	提供した食品
17 件	困窮世帯 14 件 地域活動 3 件	白米、パックご飯、アルファ米（五目ご飯等）、餅、乾麺、カップ麺、非常食セット、缶詰、フリーズドライみそ汁、レトルト食品、お菓子 他

8 法人後見事業

法人後見に関する会議や研修会へ参加するとともに、事業を実施している他市町村社協の状況等の調査を行い、本会の実施要綱を作成。市および三沢・上北広域権利擁護支援センターとの連携体制の構築を図り、受任に向けての体制整備を図った。

9 社会福祉法人の社会貢献活動「しあわせネットワーク」への加入による課題を抱えた世帯への支援の実施 [新規]

青森県社会福祉協議会が実施する「しあわせネットワーク」に加入し、総合相談や経済的援助を通じて世帯の自立に向けた支援を行った。

○支援件数 1 件 支援内容：家賃 1 ヶ月分・灯油 360

IV 在宅福祉サービス部門

1 愛の輪基金の強化・運用

(1) 愛の輪基金の造成・管理の状況について ⇒【別表3・4】のとおり

(2) 果実の活用について

基金の利息等と指定寄付を合わせ、小学校2校、中学校2校、計4校に学校図書購入費として1校5万円の合計20万円を助成した。

① 基金の利息

ア 定期預金 8件 額面総額 70,000,000円 利息総額 4,360円

イ 普通預金 1件 額面総額 2,876,294円 利息総額 26円

② 雑収入 コピー機利用寄附 17,000円

② 指定寄附 6件 225,427円

③ 令和3年度学校図書購入費助成額 200,000円

・学校図書購入費助成事業については、預金利息の減少により、果実をもつての事業継続が難しくなったため、市内小中学校全校への2回の助成をもって事業終了とした。

(3) 積立について

⇒ 愛の輪基金積立事業として372,703円を積立金とした。



青森県立三沢商業高等学校

令和3年度学校内の活動の収益の一部から車椅子を購入し、寄附をしていただきました。

愛の輪基金積立事業「年度別積立金一覧」

【別表3】

区分 年度	一般寄附金	雑収入 (コピー機寄附等)	受取利息・ 配当金収入	一般会計か らの繰入金	法人運営事業 等での活用分	合計
平成元年度	0	0	0	100,000	0	100,000
平成2年度	1,458,301	0	247,921	5,500,000	0	7,206,222
平成3年度	1,736,477	0	1,083,064	8,812,310	0	11,631,851
平成4年度	1,800,186	0	196,868	775,390	0	2,772,444
平成5年度	2,219,610	0	916,903	912,860	0	4,049,373
平成6年度	3,172,234	0	730,259	926,850	0	4,829,343
平成7年度	1,831,360	24,739	596,716	997,965	0	3,450,780
平成8年度	3,124,747	25,658	245,585	1,070,720	0	4,466,710
平成9年度	2,608,536	21,385	186,952	953,670	0	3,770,543
平成10年度	2,776,372	25,697	142,940	1,204,100	0	4,149,109
平成11年度	2,677,428	41,652	138,168	1,231,030	0	4,088,278
平成12年度	2,884,225	41,754	72,792	0	100,000	2,898,771
平成13年度	3,402,631	71,735	80,186	0	100,000	3,454,552
平成14年度	2,264,773	75,919	26,644	0	1,100,000	1,267,336
平成15年度	2,082,705	89,332	15,347	0	450,000	1,737,384
平成16年度	1,694,894	88,061	15,383	0	250,000	1,548,338
平成17年度	1,776,128	141,251	15,363	0	250,000	1,682,742
平成18年度	1,074,998	133,241	20,876	0	20,000	1,209,115
平成19年度	658,989	103,916	250,106	0	386,600	626,411
平成20年度	916,050	124,385	430,632	0	555,017	916,050
平成21年度	711,944	86,864	288,580	0	309,000	778,388
平成22年度	548,365	71,627	110,404	0	182,000	548,396
平成23年度	518,978	84,779	42,859	0	115,000	531,616
平成24年度	629,940	88,698	23,853	0	120,000	622,491
平成25年度	506,814	59,899	12,969	0	0	579,682
平成26年度	756,223	69,015	23,664	0	280,000	568,902
平成27年度	524,686	47,049	17,554	0	70,000	519,289
平成28年度	518,452	47,000	18,133	0	65,000	518,585
平成29年度	511,720	33,000	10,059	0	50,000	504,779
平成30年度	516,890	36,000	6,527	0	50,000	509,417
令和元年度	524,664	25,000	7,017	0	45,517	511,164
令和2年度	490,530	24,000	7,039	0	66,039	455,530
令和3年度	551,317	17,000	4,386	0	200,000	372,703
合計	47,471,167	1,698,656	5,985,749	22,484,895	4,764,173	72,876,294
今年度 の説明	31件 別表6の通り	コピー機寄附	普通預金・定期 預金・国債利子			

【別表 4】

年度別寄附状況月別一覧表(8ヵ年比較表)

令和4年3月31日現在

平成 26 年度					平成 27 年度					平成 28 年度					平成 29 年度								
月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳		
			個人	法人	団体				個人	法人	団体				個人	法人	団体				個人	法人	団体
4	136,000	5	3	1	1	4	137,000	5	4	1		4	153,870	5	2	2	1	4	60,000	2		1	1
5	52,000	2	2			5	59,000	4	3		1	5	5,000	3	3			5	55,710	7	5		2
6	259,176	5	4		1	6	150,138	4	1		3	6	93,631	2			2	6	50,000	1			1
7	138,121	3		2	1	7	27,527	3	2		1	7	50,279	2			2	7	24,010	2	1		1
8	122,000	5	3		2	8		0				8	3,393	1	1			8	2,000	1	1		
9	5,000	1			1	9	70,721	4	1		3	9	145,720	4	1		3	9	320,000	2	1		1
10	13,952	1			1	10	80,300	6	1		5	10	66,559	5	3	1	1	10		0			
11		0				11		0				11		0				11		0			
12	29,974	2	1		1	12		0				12		0				12		0			
1		0				1		0				1		0				1		0			
2		0				2		0				2		0				2		0			
3		0				3		0				3		0				3		0			
合計	756,223	24	13	3	8	合計	524,686	26	12	1	13	合計	518,452	22	10	3	9	合計	511,720	15	8	1	6

平成 30 年度					令和元年度					令和2年度					令和3年度								
月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳			月別	寄附金額	件数	内 訳		
			個人	法人	団体				個人	法人	団体				個人	法人	団体				個人	法人	団体
4	50,000	1		1		4	53,035	3	2	1		4	50,000	1		1		4	70,000	2	1	1	
5	0	0				5	30,000	2	1		1	5	44,248	2	1	1		5	22,578	2	1		1
6	12,000	2	1		1	6	19,760	3	2		1	6	23,000	2	2			6	2,300	1	1		
7	0	0				7	38,941	3	1		2	7	10,000	1	1			7	64,110	5	4		1
8	21,890	2	2			8	4,175	2	2			8	0	0				8	13,150	1			1
9	0	0				9	17,897	2			2	9	22,000	2	2			9	1,900	1	1		
10	423,000	5	2		3	10	139,311	8	2		6	10	44,142	3	2		1	10	41,000	5	4		1
11	10,000	1			1	11	16,045	3	1		2	11	2,000	1	1			11	199,279	4	2	1	1
12		0				12	205,500	5	2		3	12	195,000	8	4		4	12	130,000	3	1		2
1		0				1		0				1	30,000	1	1			1	0				
2		0				2		0				2	68,140	4	1		3	2	0				
3		0				3		0				3	2,000	1	1			3	7,000	2	2		
合計	516,890	11	5	1	5	合計	524,664	31	13	1	17	合計	490,530	26	16	2	8	合計	551,317	26	17	2	7

2 歳末たすけあい運動の推進及び助成による地域福祉の充実

共同募金歳末たすけあい助成と社協会費を財源に以下のとおり実施した。

(1) 地域歳末たすけあい助成事業

令和3年度歳末たすけあい事業は、準要保護児童・生徒の支援を中心に、町内会を通して行った高齢者活動支援事業や、福祉団体等が行う地域活動を支援した。

- | | | | |
|---|-----------|----|----------|
| ① 準要保護児童・生徒に対し1人2,000円分のVISAギフトカードを、学校を通じて進呈した。 | 要支援者 471名 | 総額 | 942,000円 |
| ② 福祉団体活動支援事業団体 【別表5】 | | 総額 | 413,286円 |
| ア 三沢手話サークルありんこ | | | |
| イ お助けマンクラブ | | | |
| ウ 三沢ろう協会 | | | |
| エ 三沢地区更生保護女性会 | | | |
| オ ワークランドつばさ利用者自治会「ウイング」 | | | |
| カ 障害者地域生活支援センターぴあ利用者の会 | | | |
| キ 三沢市身体障害者福祉会 | | | |



【三沢手話サークルありんこ】

- | | | |
|------------------------|----|----------|
| ③ 町内会高齢者交流歳末支援事業 【別表6】 | 総額 | 490,500円 |
|------------------------|----|----------|

(2) NHK歳末たすけあい助成事業

青森県共同募金会とNHKへの配分申請により実施した。

- | | | |
|-------------|----|---------|
| ① 在宅高齢者支援事業 | 総額 | 46,000円 |
|-------------|----|---------|

85歳以上の高齢者のうち、近隣市町村に親族が居住していない方23名に「お節料理」を購入し、地区担当民生委員の協力を得て大晦日に配達した。

【別表 5】

令和3年度 地域福祉・在宅サービス団体・地域事業助成明細

助 成 先	事 業 内 容	助 成 額
<p>三沢手話サークルありんこ</p> <p>「手話サークルありんこ クリスマス会」</p>	<p>聴覚障害とその家族、三沢市主催の手話講習受講生の皆さん、手話を体験してみたいとサークルにプレ会員として参加している学生さんとその家族をお招きし、感染対策を図りながら、身ぶりや手話、表情などを駆使して、80歳代から幼児まで幅広い年齢層がコミュニケーションゲームや手話ソングなどを楽しんだ。暗やみからろう者扮するサンタクロースの登場に皆大喜び。プレゼントはかわいいケースに入った除菌シートとサンタ模様のトイレトペーパー。生活に役立つ贈り物だった。</p> <p>[12月14日 三沢市総合社会福祉センター]</p>	<p>50,000円</p>
<p>お助けマンクラブ</p> <p>「歳末たすけあい事業 親子製作体験事業」</p>	<p>新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、会員の皆さんの健康を第一に考慮し、今年も昨年同様手作りキットを持ち帰り各家庭での製作体験を実施した。大人は布地、子供はクラフト紙を使い「ガーランド」を製作し、その様子を写真で送ってもらう形をとった。</p> <p>[1月22日 松ヶ丘・自由ヶ丘 コミュニティ集会施設]</p>	<p>36,736円</p>
<p>三沢ろう協会</p> <p>「手話言語普及啓発事業Ⅲ」</p>	<p>三沢市に手話言語条例が施行され、市民のろう者、手話に対する関心が増しているように感じた。子供たち向けの手話教室の講師育成のための実践的なロールプレイ研修会を実施した。個人ごとの課題、成長テーマが明らかになり、実績を上げている人の知恵やノウハウを共有でき大成功に終えた研修会だった。</p> <p>[1月17日 三沢市国際交流教育センター]</p>	<p>80,000円</p>

<p>三沢地区更生保護女性会</p> <p>「歳末たすけあい事業 会員交流会」</p>	<p>小笠原流平物細工物教授 米田洋月氏を講師としてお迎えし、水引を使った正月飾りとポチ袋を製作し日本の伝統として育んできた水引に触れ奥深さを知ることができた研修会になった。</p> <p>[12月21日三沢市総合社会福祉センター]</p>	<p>38,845 円</p>
<p>ワークランドつばさ 利用者自治会「ウイング」</p> <p>「ワークランドつばさ ウイング年末交流会」</p>	<p>12月28日(火)ワークランドつばさの利用者で組織する「ウイング」が事業所の食堂内において食事を摂り、ビンゴゲームを行いながら一年間の活動と労をねぎらい利用者間の親睦を図り、年末交流会を実施した。利用者全員で笑顔いっぱい楽しい時間を過ごした。</p> <p>[12月28日 ワークランドつばさ食堂]</p>	<p>47,705 円</p>
<p>障害者地域生活支援センター びあ利用者の会</p> <p>「障害者地域生活支援びあ クリスマス会」</p>	<p>12月19日(土)障害者地域支援センターびあを会場にして、クリスマス会を開催。利用者、ボランティア相互の親睦を図り、ゲーム、プレゼント贈呈を行い楽しいひとときを過ごす。</p> <p>[12月18日 障害者地域生活支援センターびあホール]</p>	<p>80,000 円</p>
<p>三沢市身体障害者福祉会</p> <p>「歳末たすけあい事業 新年のつどい」</p>	<p>上十身体障害者福祉会会長のもとで、上十三身体障害者福祉会及び三沢市身体障害者福祉会の事業について意見交換会を行う予定だったが、上十三身体障害者福祉会の会長が公務の都合により参加できなくなったため、参加した会員で、今後の方針等について意見交換を行った。今後は三沢市役所障害福祉課と意見交換を行いながら、会員の増強に努めるなど三沢市身体障害者福祉会の発展に努めることになった。</p> <p>[1月18日～1月19日 まかど観光ホテル]</p>	<p>80,000 円</p>
<p>合計7件</p>		<p>413,286 円</p>

【別表 6】

令和3年度 年末年始町内会活動等支援事業実施町内会一覧

(事業報告受付順)

No.	申請町内会・団体	主 たる 内 容	実施月日	助成金額
1	泉町内会	新 年 会	R4.1.8	12,000 円
2	ひばりヶ丘団地町内会	町 内 会 忘 年 会	R3.12.5	27,000 円
3	南町町内会	クリスマスプレゼント・餅配布	R3.12.19	30,000 円
4	鹿中町内会	総 会 及 び 新 年 交 流 会	R4.1.3	28,000 円
5	美野原三丁目町内会	新 年 高 齢 者 と の 交 流 会	R4.1.15	24,000 円
6	岡三沢七丁目町内会	新 年 交 流 会	R4.1.16	21,000 円
7	緑町一丁目町内会	新 年 お 楽 し み 会	R4.1.22	23,500 円
8	東町町内会	年 末 餅 つ き 大 会	R3.12.18	64,000 円
9	三川目町内会	新 年 会 員 ・ 園 児 交 流 会	R4.1.9	42,000 円
10	大津町内会	大 掃 除 と 交 流 会	R3.12.19	36,000 円
11	塩釜町内会	町 内 新 年 会	R4.1.3	6,000 円
12	前平町内会	新 年 交 流 会	R4.1.30	37,000 円
13	新森町内会	町 内 会 総 会 ・ 懇 親 会	R4.1.9	26,000 円
14	南山町内会	お 年 玉 抽 選 会	R4.1.23	65,000 円
15	淋代町内会	総 会 及 び お た の し み 会	R4.1.9	23,000 円
16	織笠町内会	総 会 及 び 新 年 親 睦 会	R4.1.9	26,000 円
	合 計			490,500円

* 上記のほか、新型コロナ感染防止のため計画を中止した町内会が11町内会

【事業風景】



3 移送サービス事業の受託

(1) 高齢者移送サービス

介護度4・5の方を対象に、リフト付き自動車にて市内の病院受診等の送迎を行った。月別実績については以下のとおり。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院受診	44	37	51	51	49	24	38	26	46	26	40	32	464
病院入退院	0	0	1	1	0	0	0	1	2	2	0	0	7
ショート入退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施設入退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
巡回審査等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計件数	44	37	52	52	49	24	38	27	48	28	41	32	472
月毎の利用者数	16	15	20	20	18	9	17	12	20	13	16	14	--
現在の利用者数	16	27	32	34	36	36	37	40	43	47	47	48	48
稼働日数	14	13	14	17	16	9	13	8	14	10	12	13	153

(2) はまなす医療療育センター移送サービス

八戸市の青森県立はまなす医療療育センターへの通所手段がない児童と保護者を対象に移送を行うものであるが、令和3年度は対象児童がおらず、実施しなかった。



【参考】

年 度 別 移 送 実 績 推 移

(1) 高齢者移送サービス

項目 \ 年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	02年	03年
病 院 受 診	833	573	650	690	666	494	471	392	449	464
病 院 入 退 院	29	21	25	22	11	16	15	15	21	7
シ ョ ー ト 入 退 所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施 設 入 退 所	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
転 院	0	0	0	1	0	2	1	1	2	0
巡 回 審 査 等	1	0	0	2	0	2	2	0	0	0
合 計 件 数	863	595	675	716	677	516	489	409	472	472
年 間 利 用 者 数	81	65	74	82	70	57	46	51	56	48
稼 動 日 数	208	173	186	189	182	164	153	146	159	153

(2) 青森県立はまなす医療療育センター移送サービス

項目 \ 年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	02年	03年
延 べ 利 用 人 数	130	146	0	0	0	0	0	0	0	0
稼 動 日 数	42	44	0	0	0	0	0	0	0	0
利 用 家 族 数	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0

4 配食サービス事業の受託

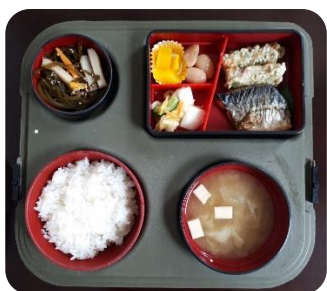
市からの委託事業として、一人暮らし高齢者をはじめとする食事の支度が困難な方を対象に昼食の弁当を配達し、食生活の改善と健康増進を図り、併せて安否確認等の見守りを行った。

- ①配 送 ボランティアの協力により、3 コースに分かれて午前の配達と午後
の回収を実施。令和 3 年度のボランティア活動者は、6 名であったが、
ボランティアが活動できない日は職員が対応した。
- ②料 金 1食 525 円。そのうち本会では、共同募金の配分金を活用して 25 円を
助成し、利用者からは 500 円の負担をしてもらう。
- ③実 施 日 月～金の平日の昼食として実施。ただし、12 月 31 日には1食 1,000 円
のおせち弁当を配達した。
- ④利 用 者 概ね 65 歳以上の単身高齢者を対象とし、高齢者夫婦世帯や日中独居の高
齢者も利用している。
- ⑤安 否 確 認 弁当を届けながら話し相手や相談対応、服薬確認を行い、利用者の様子
の変化等を観察し、必要があれば関係機関との連絡調整等を行った。個々
の病状や生活環境に配慮した対応を心がけた。

○ 月 別 実 績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	前年 度比
利用者数	45	51	48	48	47	51	48	48	46	43	42	40	83 人	+8
日 数	21	18	22	20	21	20	21	21	20	19	18	22	243	0
配 食 数	650	568	657	577	552	563	597	563	537	512	471	556	6803	-115
ボラ人数	6	5	6	4	5	6	6	6	6	6	6	5	6	0
ボラ日数	58	50	60	52	58	56	55	49	53	53	51	54	649	+69

※利用者数・ボラ人数の合計は、年度登録者数を記載。



メニュー例：サバのバジル塩焼き・ちくわの磯部揚げ・すき昆布・
煮豆・キャベツ漬け・ゼリー・豆腐と青菜のみそ汁

5 日常生活用具貸与事業

令和3年度 貸出し・保有実績表

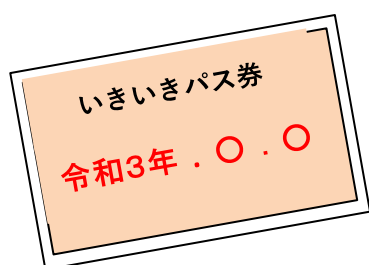
機材名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
電動ベッド	貸出し	貸出	1	2	1		1	2		1	3		1	12		
		返納	1		1	1		2	1				1		7	
		計	2	2	2	1	1	4	1	1	3	0	1	1	19	
	保有状況	購入													0	貸出中
		寄贈				1			1						2	24台
		破棄													0	利用率
		保有	23	23	23	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	96%
手動ベッド	貸出し	貸出		2		1		1		1		1	1	7		
		返納	1							1	3			2	7	
		計	1	2	0	1	0	1	0	1	4	0	1	3	14	
	保有状況	購入													0	貸出中
		寄贈													0	28台
		破棄													0	利用率
		保有	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	80%
エアーマット	貸出し	貸出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		返納	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	保有状況	購入													0	貸出中
		寄贈													0	0台
		破棄													0	利用率
		保有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	保有無し
車椅子	貸出し	貸出	4	5	2	1	2			2	3	1	1	1	22	
		返納	1	2	2		1			1	1	3	1	3	15	
		計	5	7	4	1	3	0	0	3	4	4	2	4	37	
	保有状況	購入													0	貸出中
		寄贈												2	2	42台
		破棄													0	利用率
		保有	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	77	77	55%
全体	貸出し	貸出	5	9	3	2	3	3	0	3	7	1	2	3	41	
		返納	3	2	3	1	1	2	1	2	4	3	2	5	29	
		計	8	11	6	3	4	5	1	5	11	4	4	8	70	
	保有状況	購入													0	
		寄贈				1			1					2	4	
		破棄													0	全体利用率
		保有	133	133	133	134	134	134	135	135	135	135	135	137	137	69%

6 三沢市路線バス高齢者いきいきパス券発行事業の実施

平成24年度から、三沢市の委託事業となった「三沢市路線バス高齢者いきいきパス券発行事業」を受託し、事務を行っている。

この事業は、特に浜通り地区を主眼に、高齢者の通院等のバス利用を支援するもので、1ヶ月6,000円のパス券を利用者本人負担3,000円、三沢市負担3,000円で購入することができ、乗り降りに際しては1回150円の運賃を支払うというものである。月別・地区別の購入実績は次のとおり。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実質人数
総計	15	13	14	12	12	11	12	11	14	12	12	9	147	18
北部地区	11	9	9	8	8	8	8	9	9	7	8	6	100	12
塩釜	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35	3
織笠	1	1	1	1	1		1	1	1	1			9	1
六川目	2	2	1	2		2		2					11	2
細谷														
朝日						1							1	1
谷地頭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
庭構	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	17	2
新森	3		3		2		2	1	2		2		15	2
東部地区	4	4	5	4	4	3	4	2	5	5	4	3	47	6
淋代	4	4	5	4	4	3	4	2	5	5	4	3	47	6
市内中心部														



IV 受託施設・運営施設サービス部門

1 就労継続支援 B 型事業所ワークランドつばさの設置運営

→別冊事業報告書のとおり

2 指定管理者制度に基づく児童館（センター）の運営 及び岡三沢児童クラブの受託運営

→別冊事業報告書のとおり

3 6 館・1 クラブ合同による総合的運営事業

→別冊事業報告書のとおり

4 三沢市いきいきデイサービスの指定管理受託

(1) 受託期間

平成 31 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日（4 年間）

(2) 事業内容

①受託事業（三沢市いきいきデイセンター設置条例に規定する業務）

- ・事業内容：介護予防、食事・入浴の提供、健康・生活相談、その他
- ・事業対象者：65 歳以上の介護保険に非該当の方
- ・利用条件：週 1 回利用（月～金曜日）、定員 25 名
- ・利用料：500 円（食費の実費分）

②自主事業（指定管理者が実施）

- ・「かだれ^や家」（室内ゲーム中心に高齢者の集いの場として実施）
- ・実施月 1 回（原則第 3 土曜日、午前中、参加料：300 円）

(3) 事業結果

①受託事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	21	16	22	20	20	3	20	20	20	12	0	4	178
人数	268	193	280	271	218	41	258	260	259	130	0	33	2,211

利用開始：8名、利用中止：16名、年度末時点の利用登録者：86名

*コロナの影響等による休業や利用の自粛、天候（大雪）のため、利用者が大幅に減少した。

○コロナで休館となった期間：令和3年9月6日～10月1日

令和4年1月4日

令和4年1月24日～3月25日

○コロナで半日利用となった期間：令和4年3月28日～31日

○コロナ感染対策（消毒作業）臨時休館：令和3年5月6日～7日

②自主事業「サロンかだれ家」

月 日	5/15	6/19	7/17	8/21	10/16	11/20	12/18	1/15	計
利用者	20	19	18	16	15	13	14	12	127
男 性	9	9	8	7	5	5	5	4	52
女 性	11	10	10	9	10	8	9	8	75

*毎月実施予定であったが、コロナの影響による中止が4回あった。



かだれ家（麻雀）



いきいきデイセンター（介護予防）

(4) その他

①かだれ家利用者アンケートの実施

3月に実施を予定していた利用者アンケートは、コロナウイルスの影響によるかだれ家の中止により、実施することができなかった。

V 法人運営部門

1 理事会・評議員会・部会・委員会の開催

理事会 3 回（内、決議の省略の実施 1 回）、評議員会 2 回（内、決議の省略の実施 1 回）、監査会 1 回、地域福祉部会 2 回、表彰審査委員会 1 回、愛の輪基金運営委員会 1 回を開催して事業を進めた。

→ 「2 運営」(P.7) 参照

2 寄附金の活用及び会員の募集・拡大による自主財源の確保

① 寄附金の活用

令和 3 年度の寄附は、50 万円までは愛の輪基金へ繰り入れ、超えた分は原則一般財源として「法人運営事業経理区分」で受け入れた。

その結果、年間寄附金額 1,055,777 円のうち、504,460 円（個人 6 件、団体 1 件）を一般財源として活用した。

② 社協会員制度の推進

正会員：町内会等を通じて 1 世帯あたり 1 口 500 円の会費納入を依頼。協力依頼のため『令和 3 年度社協会員加入推進事業・年末年始町内会活動支援事業説明会』を開催した。その結果、令和 3 年度の会費実績は合計金額 3,118,350 円となり、前年度に比べて世帯数では 339 世帯減り、263,900 円の減額となった。

⇒ 社協会員加入推進事業・年末年始町内会活動支援事業説明会
11 月 22 日(月) 三沢市総合社会福祉センター

特別会員：理事・監事 5,000 円、評議員 3,000 円。社協役員を対象とした制度。

賛助会員：個人会員 1 口 5,000 円、団体・法人会員 1 口 10,000 円。令和 3 年度は個人会員 8、団体・法人会員 14 となった。

特別賛助会員：平成 26 年度から設けた会費制度として、一週間以上の日常生活用具(ベッド・車椅子等)借用者を対象とした特別賛助会員制度は、41 件 30,000 円の会費収入となった。

⇒ 参 考 【別表 7】三沢市社会福祉協議会賛助会員一覧表 (P.51)

【別表 8】令和 3 年度三沢市社会福祉協議会会費納入町内会一覧
(P.52)

三沢市社会福祉協議会賛助会員一覧表

	会員 番号	氏 名	申 込 日	会員 番号	団 体 ・ 法 人 名	申 込 日
1	010	竹 内 英 治	H11.06.22	025	財団法人 三沢畜産公社	H12.06.30
2	028	高 橋 博 美	H13.03.26	027	三沢陶韻クラブ	H12.12.08
3	033	高 松 朝 子	H14.04.11	032	株式会社 東北企画	H13.05.16
4	051	松 橋 信 子	H23.09.29	035	三沢いすゞ自動車(株)	H15.03.17
5	055	福 田 和 男	H26.12.09	036	三沢市商工会	H15.04.10
6	056	宮 崎 倫 子	H27.03.25	037	株式会社 苫米地商店	H15.04.10
7	057	宮 野 楠 見	H28.09.27	039	有限会社 つたや会館	H15.04.10
8	059	福 田 妙 子	R01.7.24	040	株式会社 中屋敷建設	H21.09.18
9				049	NPO 法人 障害者地域生活支援センター ぴあ	H24.04.24
10				052	有限会社 ループ	H24.08.01
11				053	株式会社 三沢警備保障	H26.06.16
12				054	株式会社 下久保建材店	H26.06.16
13				058	社会福祉法人 希望	H29.05.12
14				060	合同会社ビードル産直市場	R01.10.24
		個人会員 8			団体・法人会員 14	

【別表8】

令和3年度 三沢市社会福祉協議会会費納入町内会一覧

No	町内会名	加 入 世 帯 数	会費実績	納入 月日	No	町内会名	加 入 世 帯 数	会費実績	納入 月日	No	町内会名	加 入 世 帯 数	会費実績	納入 月日
1	春日台一丁目	119	59,500	12/10	41	桜町二丁目	82	41,500	2/1	78	堀口			
2	春日台二丁目	82	41,000	12/10	42	桜町三丁目	27	13,500	3/10	79	堀口一丁目	83	24,000	12/2
3	春日台三丁目	115	57,500	9/16	43	桜町団地	65	19,500	1/31	80	堀口団地	51	12,750	12/15
4	春日台四丁目	24	12,000	1/13	44	桜町官舎	8	4,000	3/29	81	松ヶ丘	200	80,000	12/13
5	古間木一丁目	43	21,500	1/19	45	飲食街				82	自由ヶ丘	72	36,000	11/30
6	古間木二丁目				46	若葉会	29	5,000	11/30	84	泉	37	18,500	12/20
7	朝日台	30	15,000	12/1	47	松原町	97	10,000	12/21	85	南山	186	93,000	12/2
8	古間木団地	60	18,000	11/30	48	美野原一丁目	169	40,000	12/8	86	深谷			
9	ひばりヶ丘団地	98	49,000	12/16	49	美野原二丁目	90	45,000	12/20	87	日の出	163	60,000	12/6
10	本町一丁目	18	9,000	3/23	50	美野原三丁目	83	41,500	12/13	88	大津	276	85,000	12/13
11	駅前	28	14,000	10/27	51	栄町	136	68,000	11/24	89	さつきヶ丘			
12	本町三丁目	13	6,500	12/28	52	東町	219	109,500	12/15	90	浜三沢	146	73,000	1/20
13	本町四丁目	44	22,000	1/4	53	南町	184	30,000	11/29	91	三川目	166	83,000	12/16
14	薬師町一丁目	43	21,500	12/2	54	緑町	43	22,000	12/14	92	鹿中	136	68,000	12/15
15	薬師町二丁目	36	20,000	12/27	55	緑町一丁目	47	23,500	12/6	95	淋代	195	78,000	1/31
16	千代田町	139	40,000	12/10	56	幸町一丁目	60	30,000	3/8	96	細谷	56	28,000	10/29
17	新町一丁目	20	10,000	12/20	57	幸町二丁目	74	37,000	3/7	97	六川目	173	86,500	12/10
18	新町二・三・四丁目	150	78,500	1/17	58	幸町三丁目	53	20,000	3/11	98	織笠	86	43,000	11/22
19	大町第一	70	35,000	12/27	59	基地従業員宿舍自治会				99	塩釜	146	73,000	1/11
20	大町第二	34	10,200	12/14	60	平畑66	103	20,000	12/10	100	新森	81	40,500	12/16
21	大町第三	37	18,500	1/31	61	平畑一丁目	78	10,000	1/26	102	根井	43	21,500	12/15
22	大町第四	55	27,500	1/19	62	平畑二丁目	24	5,000	12/10	103	朝日	20	10,000	12/6
23	大町第一特借				63	平畑団地	13	10,000	3/17	104	高野沢	24	12,000	12/6
24	大町第二特借				64	本岡三沢	103	48,000	11/30	105	谷地頭	84	25,000	12/14
25	松園町一丁目	156	30,000	12/1	65	下久保	227	40,000	1/11	106	富崎	19	9,500	12/20
26	松園町二丁目	68	34,500	2/2	66	岡三沢四、五丁目	70	35,000	12/16	107	八幡	16	8,000	3/18
27	松園すみれ	21	10,500	11/30	67	岡三沢六丁目	44	10,000	12/27	108	越下	14	7,000	10/15
28	花園町	94	10,000	11/29	68	岡三沢八丁目	68	35,000	12/15	109	泉町第二	33	16,500	12/17
29	西花園町	168	50,400	11/26	69	岡三沢一丁目	15	7,600	12/8	110	清水	5	2,500	1/6
30	上久保	181	92,000	1/11	70	梢町	39	19,500	10/11	111	虹ヶ丘	47	10,000	6/28
31	第一中央商店街	10	5,000	12/17	71	東岡三沢	230	115,000	12/24	112	岡三沢七丁目	42	21,000	11/30
32	中央町一丁目	20	10,000	1/13	72	木崎野	105	52,500	3/9	113	前平	39	20,500	12/22
33	中央町二丁目	29	14,500	1/24	73	後久保特借				114	南ニュータウン	91	45,500	3/10
34	中塩通り	12	6,000	11/24	74	上屋敷	49	24,500	12/14	115	空港通り			
36	一二三街	13	8,000	1/26	75	駒沢	34	17,000	12/8	116	前平西	9	4,500	1/31
39	銀座連合	148	30,000	9/22	76	こがね町	112	56,000	1/17					
40	桜町一丁目	20	10,000	12/8	77	北園	152	30,400	11/29					
	小計	2,198	897,100			小計	2,932	1,095,500			小計	2,739	1,195,750	
											合計	7,869	3,188,350	

※ 令和4年3月31日までの受付分を記載しております。

3 広報活動の充実・強化

社協だよりの発行により、事業の周知及び予算・決算や寄附の報告に努めた。

① 配布先

- ・ 町内会毎戸配布
- ・ 賛助会員へ送付
- ・ 公共機関や学校、関係団体へ送付
- ・ ホームページに掲載

② 掲載記事

令和3年 6月1日付 第207号『安心電話・事業計画・予算・収集ボランティア 他』

令和3年 7月1日付 第208号『配食サービス・事業報告・決算報告 役員改選 他』

令和3年 9月1日付 第209号『生活支援体制整備事業・ボラ連だより・募金会 他』

令和3年 10月1日付 第210号『福祉体験学習・募金会だより 他』

令和3年 11月1日付 第211号『市民福祉大会案内・会いたい応援・サロンかだれ家 他』

令和3年 12月1日付 第212号『マスコットキャラクター・市民福祉大会報告 他』

令和4年 2月1日付 第213号『いきいきサポーター養成講座・生活福祉資 他』

令和4年 3月1日付 第214号『年末年始支援事業報告・ボラ保険・募金会だより 他』

③ ホームページURL

<http://misawa-shakyo.jp/>



④ 音声版社協だよりの発行準備

新型コロナウイルス感染拡大により、高校生ボランティアの活動にも影響が及び、音声版社協だよりの作成が不定期となった。作成方法について他の方法も検討し、定期の発行をめざすものとする。

4 研修会の実施・参加等による役職員の資質向上

(1) 社会福祉法人による社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」活動説明会

令和3年5月25日(火) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・種市・田中敏恵

(2) 令和3年度 第1回基幹的社会福祉協議会連絡会議

令和3年5月27日(木) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：種市

(3) 青森県立保健大学 令和3年度ソーシャルワーク実習指導者会議

令和3年6月18日(金) オンライン参加

主 催：県立保健大学 参加者：渡辺

(4) 令和3年度 ボランティア活動実践セミナー

令和3年6月22日(金) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会

参加者：ボラ連7名・地域生活支援コーディネーター7名

渡辺・種市・モンクリーフ・田中敏恵



計 18 名

(5) 令和3年度 日常生活自立支援事業専門員・生活支援員研修会

令和3年6月30日(水) 青森県総合社会教育センター

主 催：青森県社会福祉協議会

参加者：管内生活支援員3名・管内市町村社協担当職員3名

渡辺・種市・モンクリーフ・田中敏恵

計 10 名

(6) 令和3年度 青森県生活支援コーディネーター情報交換会

令和3年7月29日(木) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：コーディネーター6名・渡辺・中居

(7) 令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】

令和3年9月2日(木) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・中居



- (8) 自立相談支援ネットワーク会議・重層的支援体制に向けた情報交換会
令和3年9月16日(木) オンライン参加
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：法量・渡辺・種市
- (9) 令和3年度青森県生活支援コーディネーター養成研修【実践編Ⅰ】
令和3年9月30日(木) オンライン参加
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・種市・中居
- (10) 令和3年度青森県生活支援コーディネーター養成研修【実践編Ⅱ】
令和3年11月5日(金) オンライン参加
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・種市・中居
- (11) 令和3年度ソーシャルワーク実習報告会
令和3年11月9日(火) オンライン参加
主 催：青森県立保健大学 参加者：渡辺
- (12) フードバンク機能と住民活動支援に係る連絡会議
令和3年11月10日(水) オンライン参加
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・種市・山本・小泉
- (13) 令和3年度 災害ボランティアセンター設置運営者研修
並びに市町村社協災害ボランティア研修
令和3年11月12日(金) 青森県観光物産館アスパム
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：田中まい・山本
- (14) 就業環境整備・改善支援セミナー
令和3年11月26日(木)、12月2日(木)、12月3日(金) オンライン参加
主 催：ランゲート株式会社 参加者：法量・川畑・田中まい・小泉
- (15) 令和3年度 社協中堅職員研修会
令和3年12月13日(月) 青森県総合社会教育センター
主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：川畑

(16) コミュニティソーシャルワーカー養成研修【制度理解編】

令和4年1月6日(金) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：法量・渡辺・種市・川畑・田中まい

(17) 令和3年度 権利擁護・成年後見セミナー

令和4年1月17日(月) 配信動画視聴

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：種市

(18) 令和3年度 第2回基幹的社会福祉協議会連絡会議

令和4年2月9日(水) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：種市・山口

(19) 令和3年度法人後見実施社協連絡会議

令和4年2月9日(水) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：法量・種市・山口

(20) 令和3年度市町村社協ボランティア担当者会議

及び令和3年台風第9号災害の振り返り会議

令和4年2月21日(水) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・山本

(21) 上十三社協連絡会ブロック研修会「上十三地域社協災害時相互応援協定について」

令和4年3月2日(水) 六戸町社会福祉協議会

主 催：上十三社協連絡会 参加者：法量・田中まい

(22) 社会福祉法人による社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」

「はじめての支援」説明会

令和4年3月3日(木) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：法量・種市・川畑・田中まい

(23) 令和2年度 生活福祉資金貸付事業担当者研修会

令和3年3月10日(木) オンライン参加

主 催：青森県社会福祉協議会 参加者：渡辺・中居

Ⅲ 令和3年度年間行事一覧表

(主催及び関連行事別)

全国・東北・県関係			
月	日	会 議 ・ 研 修 ・ 行 事 名	場 所
4	22	令和3年度青森県市町村社会福祉協議会連絡会 第1回役員会	県民福祉プラザ
	22	令和3年度青森県市町村社会福祉協議会連絡会 監査会	県民福祉プラザ
5	19	令和3年度郡市町村社協事務局長連絡会議	オンライン
	25	社会福祉法人による社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」活動説明会	オンライン
6	11	令和3年度青森県社会福祉協議会 第1回理事会	ウェディングプラザアラスカ
	25	令和3年度青森県市町村社協連絡協議会通常総会(書面議決)	
	28	令和3年度青森県社会福祉協議会 第2回理事会	ウェディングプラザアラスカ
7	7	第70回青森県社会福祉大会 第1回実行委員会	ホテル青森
8	3	第70回青森県社会福祉大会 第2回実行委員会	ホテル青森
	3	第70回青森県社会福祉大会 表彰審査委員会	ホテル青森
9	16	自立相談支援ネットワーク会議・重層的支援体制整備に向けた情報交換会	オンライン
10	18	青森県市町村社会福祉協議会連絡会 令和3年度第1回市部会(組織会)	オンライン
	10	フードバンク機能と住民活動支援に係る連絡会議	オンライン
12	10	青森県社会福祉協議会令和3年度第3回理事会(決議の省略)	
	13	令和3年度社協中堅職員研修会	県総合社会教育センター
	21	青森県社会福祉協議会令和3年度第2回評議員会(決議の省略)	
1	6	コミュニティソーシャルワーカー養成研修【制度理解編】	オンライン
2	9	令和3年度 法人後見実施社協連絡会議	オンライン
2	25	令和3年度第1回権利擁護部会(組織会)	オンライン
3	3	令和3年度第1回生活支援コーディネーター部会(組織会)	オンライン
	10	令和3年度第4回理事会(決議の省略)	
	11	青森県市町村社会福祉協議会連絡会 令和3年度第2回役員会	県民福祉プラザ

市社協事務局関係			
4	1	令和3年度三沢市社会福祉協議会 辞令交付式	三沢市社会福祉協議会
4/13~3/15		法律相談(毎月第2火曜日)	三沢市社会福祉協議会
5	15	第1回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	19	令和3年度三沢市地域ケア会議 全体会議	市総合社会福祉センター

	27	三沢市社会福祉協議会 決算監査	市総合社会福祉センター
	27	三沢市民生委員推薦会委員 委嘱辞令交付式及び組織会	市総合社会福祉センター
	29	三沢こども宅食おすそわけ便	市総合社会福祉センター
6	9	上十三社会福祉協議会職員連絡会 令和3年度第1回役員会	おいらせ町地域福祉センター
	10	令和3年度三沢市社会福祉協議会 第1回理事会	市総合社会福祉センター
	17	令和3年度第1回評議員選任・解任委員会	市総合社会福祉センター
	19	第2回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	24	令和3年度三沢市社会福祉協議会 第1回定時評議員会	国際交流センター
	24	令和3年度三沢市社会福祉協議会 第2回理事会	国際交流センター
7	2	愛の輪基金運営委員会	国際交流センター
	17	第3回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	31	三沢こども宅食おすそわけ便	市総合社会福祉センター
8	21	第4回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
10	2	三沢こども宅食おすそわけ便	市総合社会福祉センター
	5	令和3年度第1回地域福祉部会	市総合社会福祉センター
	16	第5回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	20	令和3年度三沢市地域ケア会議	市総合社会福祉センター
	26	令和3年度「第34回三沢市民福祉大会」表彰審査委員会	市総合社会福祉センター
	28	令和3年度第2回地域福祉部会	市総合社会福祉センター
11	19	第34回三沢市民福祉大会	三沢市公会堂
	20	第6回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	22	令和2年度社協会費加入推進事業・年末年始町内会支援事業説明会	市総合社会福祉センター
	27	三沢こども宅食おすそわけ便	市総合社会福祉センター
12	18	第7回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
1	7	令和3年度第3回地域福祉部会	市総合社会福祉センター
	11	令和3年度三沢市社会福祉協議会役職員研修会	ホテルグランヒルつたや
	15	第8回サロンかだれ家	いきいきデイセンター
	29	三沢こども宅食 おすそわけ便	市総合社会福祉センター
3	2	令和3年度上十三社会福祉協議会職員連絡会ブロック研修会	六戸町老人福祉センター
	10	令和3年度 三沢市社会福祉協議会第3回理事会(決議の省略)	
	23	令和3年度 三沢市社会福祉協議会第2回評議員会(決議の省略)	
	26	三沢こども宅食 おすそわけ便	市総合社会福祉センター

地域きずな支え合い生活支援体制整備事業			
5	21	第1回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
6	18	第2回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
7	16	第3回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
	29	令和3年度生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン
8	20	第4回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
9	2	令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】	オンライン
	30	令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【実践編Ⅰ】	オンライン
10	15	第5回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
11	5	令和3年度生活支援コーディネーター養成研修【実践編Ⅱ】	国際交流センター
	25	令和3年度地域福祉推進セミナー	国際交流センター
12	17	第6回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
1	21	第7回コーディネーター・ミーティング	市総合社会福祉センター
3	5	住民参加による有償型生活支援サービス「いきいき生活サポート事業(仮称)」いきいきサポーター養成講座	国際交流センター

福祉教育関係			
6	9	三沢市立岡三沢小学校 車いす体験学習	市立岡三沢小学校
	18	令和3年度ソーシャルワーク実習指導者会議	オンライン
7	16	三沢市立木崎野小学校 車いす体験学習	市立木崎野小学校
8/2~9/28		令和3年度青森県立保健大学ソーシャルワーク実習	三沢市社会福祉協議会
9	10	三沢市立上久保小学校 高齢者疑似体験	市立上久保小学校
	15	三沢市立上久保小学校 車いす体験	市立上久保小学校
10/4~10/21		東北福祉大学社会福祉援助技術実習	三沢市社会福祉協議会
11	9	令和3年度ソーシャルワーク実習報告会	オンライン

生活福祉資金貸付事業関係			
11	19	令和3年度生活福祉資金等貸付事務指導監査(書面監査)	
3	10	令和3年度生活福祉資金貸付事業担当者研修会	オンライン

日常生活自立支援事業関係			
5	27	令和3年度第1回基幹的社協等連絡会議	オンライン
	30	令和3年度日常生活自立支援事業専門員・生活支援員研修会	国際交流センター
9	9	令和3年度日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	オンライン

	27	令和3年度日常生活自立支援事業預かり書類等の現物検査	三沢市社会福祉協議
10	4	令和3年度日常生活自立支援事業預かり書類等の現物検査	横浜町社会福祉協議
	20	令和3年度日常生活自立支援事業預かり書類等の現物検査	六ヶ所村社会福祉協議会
2	9	令和3年度第2回基幹的社協等連絡会議	オンライン
	17	令和3年度日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	オンライン

ボランティア関係

6	4	令和2年度三沢市ボランティア連絡協議会決算監査	三沢市社会福祉協議会
	16	令和3年度ボランティア推進校 第1回連絡会議	市総合社会福祉センター
	22	令和3年度ボランティア活動実践セミナー	オンライン
7	9	三沢市ボランティア連絡協議会 令和3年度第1回理事会	市総合社会福祉センター
8	10	令和3年度三沢市ボランティア連絡協議会総会(書面開催)	
11	12	令和3年度災害ボランティアセンター設置運営者研修 令和3年度市町村社協連絡会 災害ボランティア研修	県観光物産館アスパム
12	16	三沢市ボランティア連絡協議会 令和3年度第2回理事会	市総合社会福祉センター
2	21	令和3年度市町村社協ボランティア担当者会議 及び令和3年台風第9号災害振り返り会議	オンライン

老人福祉関係

11	12	三沢市老人クラブ連合会第28回交通安全・防犯大会	三沢市公会堂
12	2	第38回三沢市老連芸能発表会	三沢市公会堂

その他の総会等

5	25	三沢市要保護児童対策地域協議会	三沢キッズセンターそらいえ
	31	令和3年度三沢地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	三沢公共職業安定所
7	1	令和3年度三沢空港利用促進期成会定時総会(書面表決)	
10	26	第26回ミス・ビードルゴルフコンペチャリティー寄付贈呈式	ホテルグランヒルつたや
11	12	令和3年度三沢地区暴力追放推進協議会理事会・総会(書面議決)	
	22	三沢空港ユニバーサルデザイン推進委員会	三沢空港事務所会議室
1	5	令和4年三沢市新年互礼会	きざん三沢
	8	有限会社加澤商店 四十周年記念新年の集い	きざん三沢
3	4	三沢空港ユニバーサルデザイン推進委員会	三沢空港事務所会議室
	25	令和3年度第2回三沢市共生社会ホストタウン推進実行委員会(書面表決)	
	25	令和3年度第6回三沢市地域公共交通会議	三沢市役所

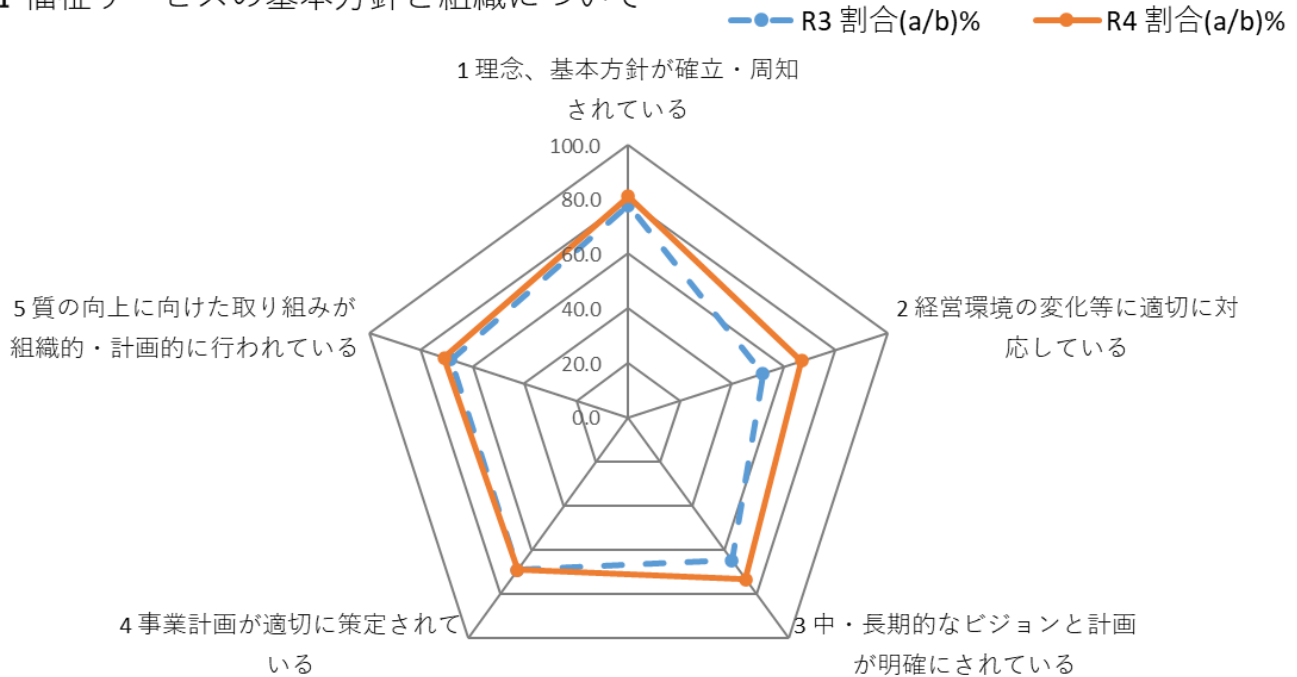
IV 法人自己評価

○事業職員（つばさ・児童館児童センター・デイセンター） ■評価者数 52 名

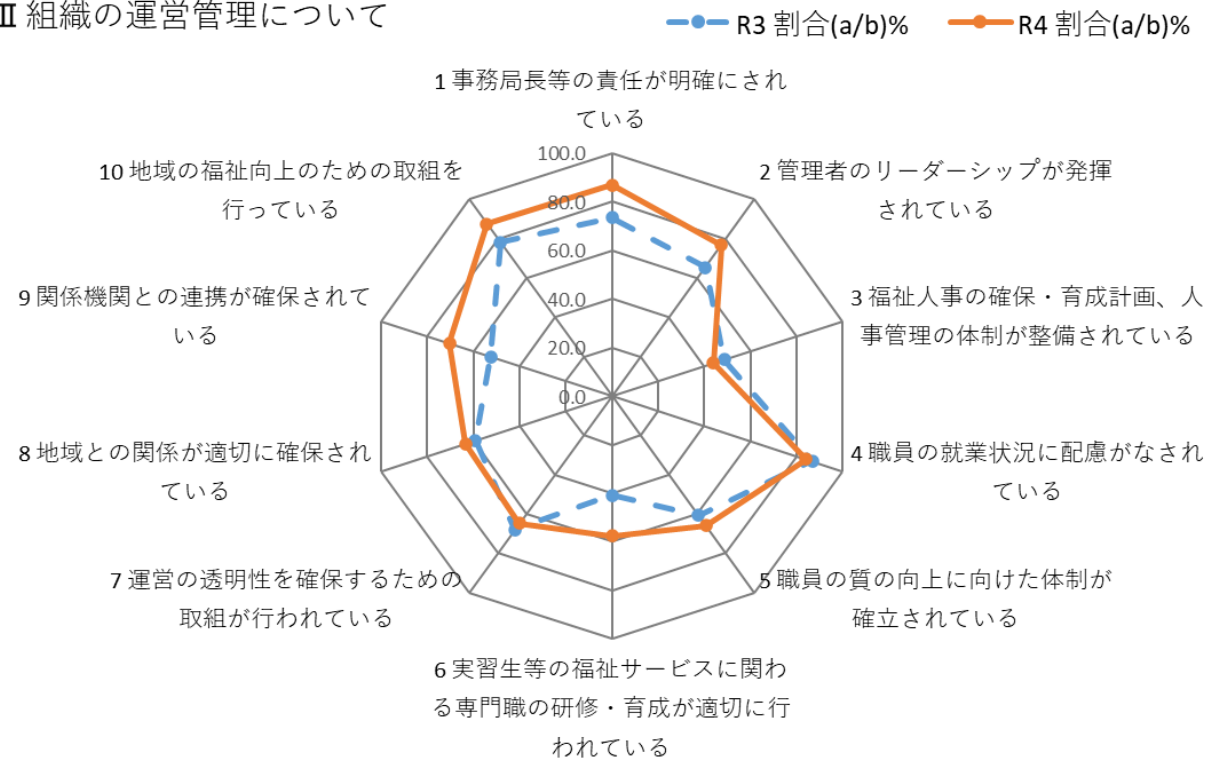
評価対象	評価分類	評価項目	細目数
I 福祉サービスの基本方針と組織 (評価項目毎チャート1)	1 理念・基本方針	1 理念、基本方針が確立・周知されている。	1
	2 経営状況の把握	2 経営環境の変化等に適切に対応している。	1
	3 事業計画の策定	3 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	2
		4 事業計画が適切に策定されている。	2
II 組織の運営管理 (評価項目毎チャート2)	5 事務局等の責任とリーダーシップ	1 事務局長等の責任が明確にされている。	2
		2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	2
	6 福祉人材の確保・養成	3 福祉人事の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	1
		4 職員の就業状況に配慮がなされている。	1
		5 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	1
		6 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	1
	7 運営の透明性の確保	7 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	1
	8 地域との交流、地域貢献	8 地域との関係が適切に確保されている。	2
		9 関係機関との連携が確保されている。	1
		10 地域の福祉向上のための取組を行っている。	3
III 適切な福祉サービス (評価項目毎チャート3)	9 利用者本位の福祉サービス	1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	2
		2 福祉サービスの提供に関する説明と同意が適切に行われている。	3
		3 利用者満足の向上に努めている。	1
		4 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	3
		5 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	3
	10 福祉サービスの質の確保	6 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	2
		7 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	2
		8 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	2

☆評価分類毎チャート

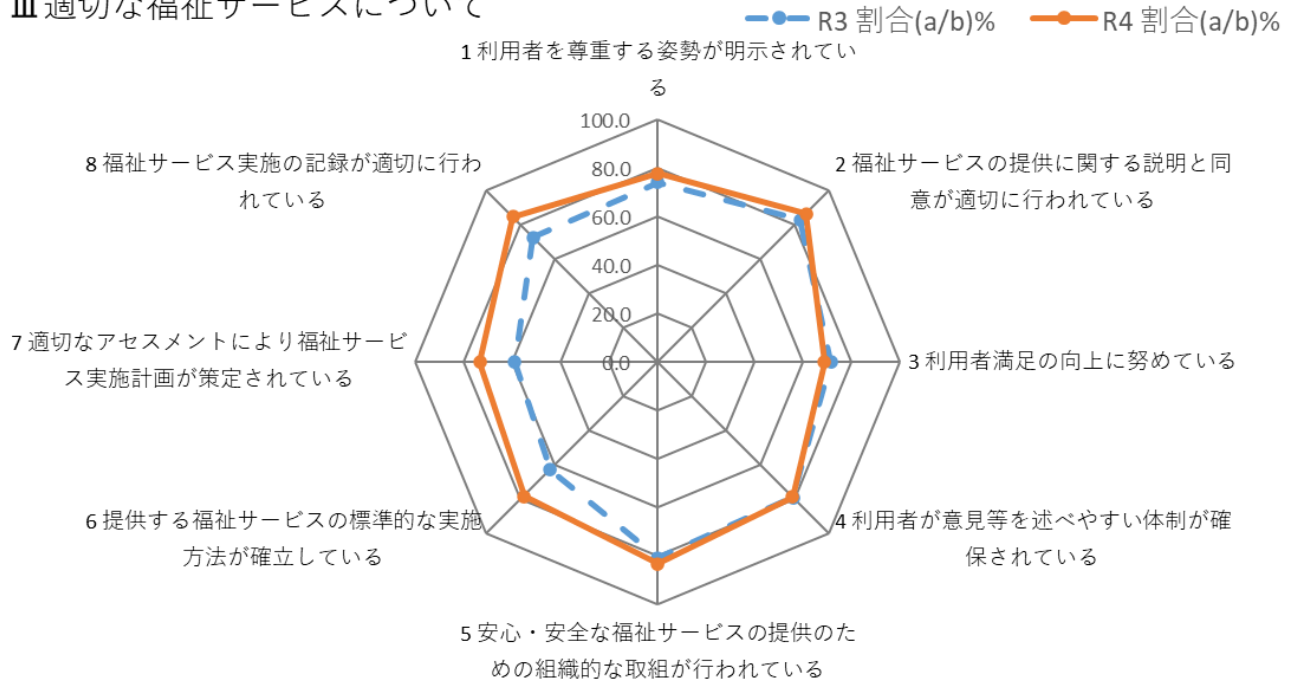
I 福祉サービスの基本方針と組織について



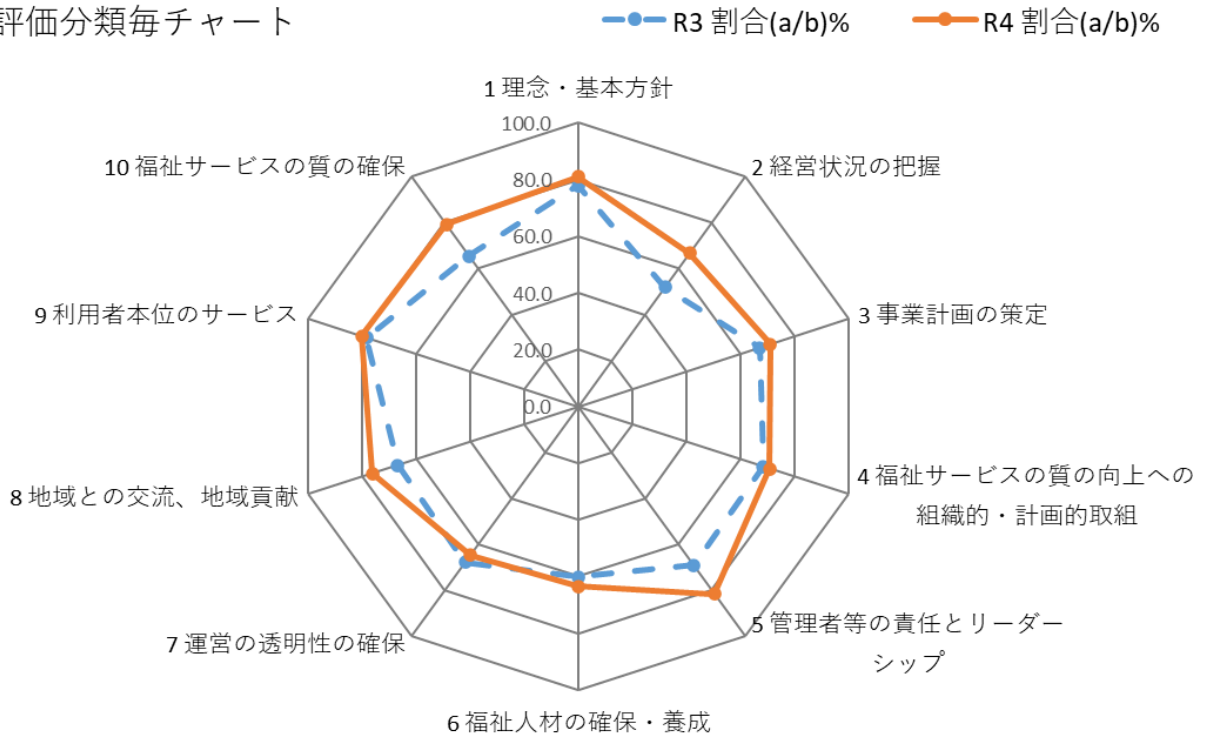
II 組織の運営管理について



Ⅲ 適切な福祉サービスについて



☆評価分類毎チャート

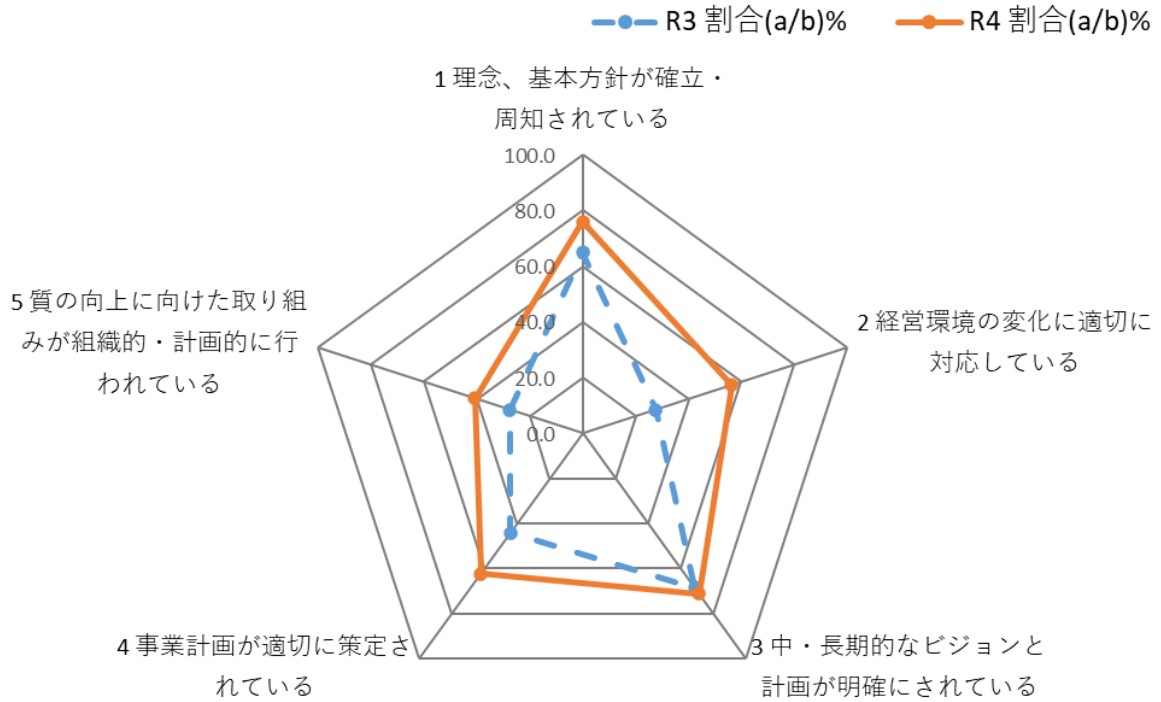


○事務局 ■評価者数 12名

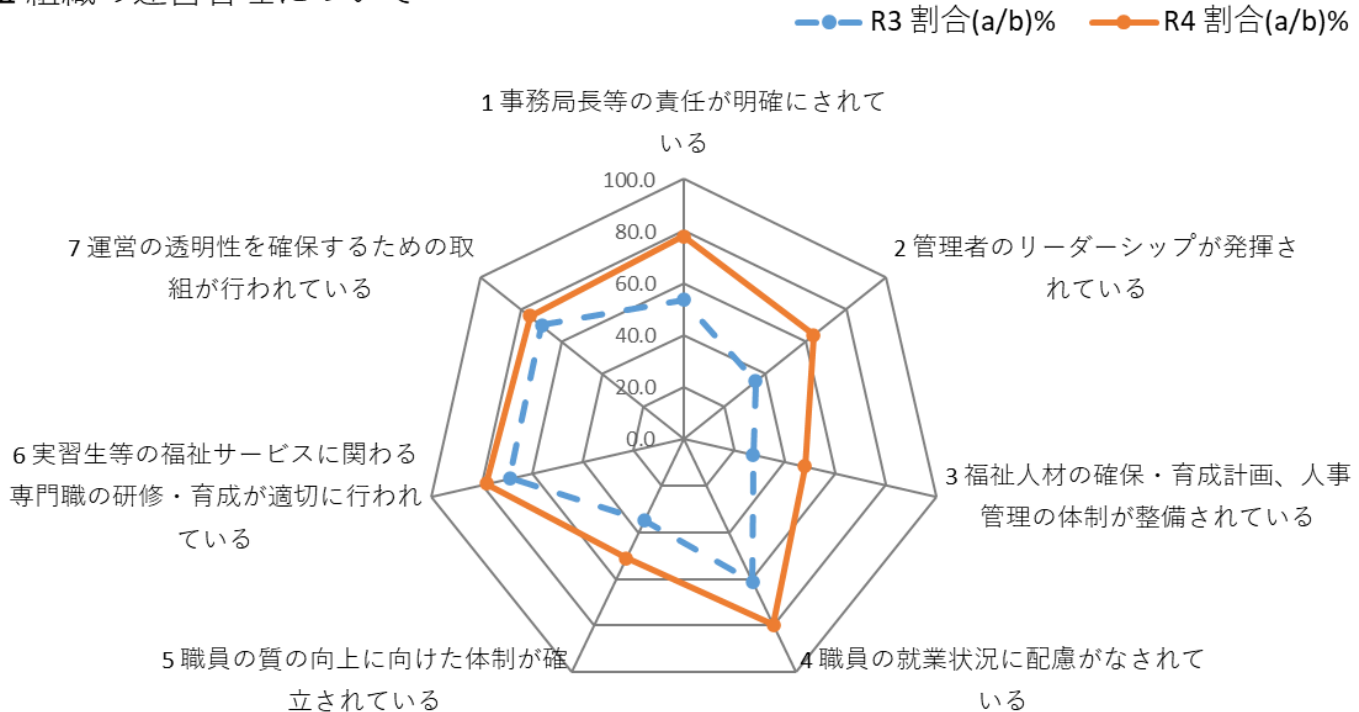
評価対象	評価分類	評価項目	細目数
I 福祉サービスの基本方針と組織 (評価項目毎チャート1)	1 理念・基本方針	1 理念、基本方針が確立・周知されている。	1
	2 経営状況の把握	2 経営環境の変化等に適切に対応している。	1
	3 事業計画の策定	3 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	2
		4 事業計画が適切に策定されている。	2
II 組織の運営管理 (評価項目毎チャート2)	5 事務局等の責任とリーダーシップ	1 事務局長等の責任が明確にされている。	2
		2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	2
6 福祉人材の確保・養成	6 福祉人材の確保・養成	3 福祉人事の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	1
		4 職員の就業状況に配慮がなされている。	1
		5 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	1
		6 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	1
7 運営の透明性の確保	7 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	1	
A 社協の事業活動の推進 (評価項目毎チャート3)	8 社協の事業活動の推進	1 小地域福祉活動の推進	2
		2 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	2
		3 ソーシャルアクションの実施。	1
		4 地域福祉活動計画が適切に策定されている。	1
		5 虐待への対応体制が整えられている。	1
	9 地域の福祉力の向上に向けた取り組み	6 ボランティア活動推進に向けた仕組みの確立。	2
		7 地域ぐるみの福祉教育の推進。	1
		8 災害時における福祉救援・災害ボランティア活動。	1
	10 総合的な生活支援活動の推進	9 総合的な生活支援活動の推進	3
	11 広報活動	10 社協の広報活動を積極的に行っている。	1
	12 社協の運営基盤の確立	11 社協の運営基盤の確立に向けて具体的に取り組んでいる。	1

☆評価分類毎チャート

I 福祉サービスの基本方針と組織について

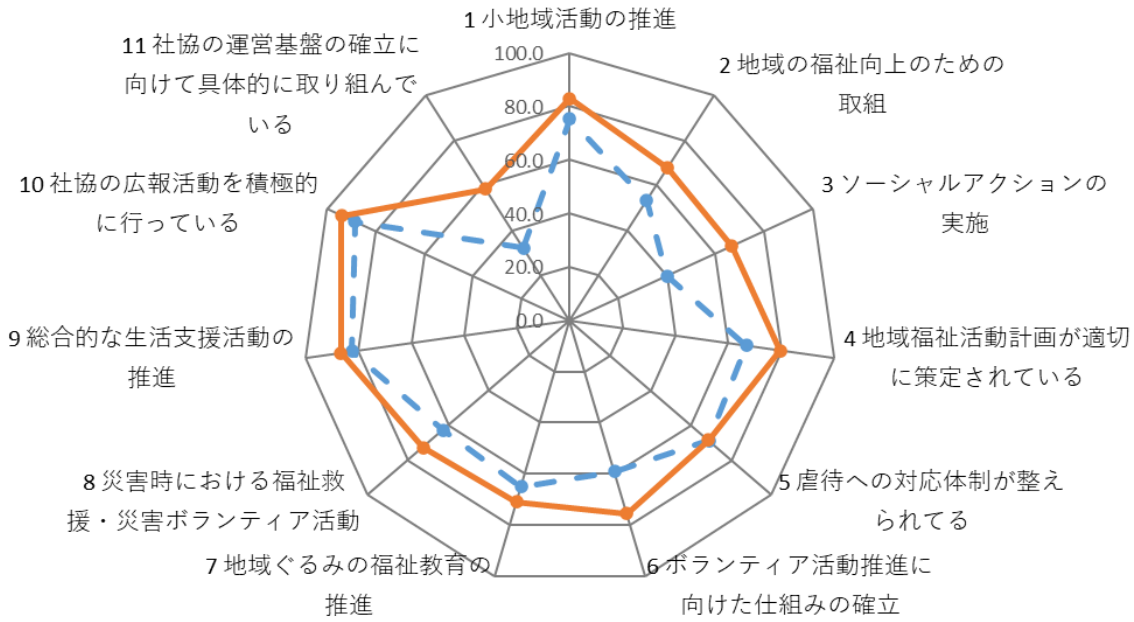


II 組織の運営管理について



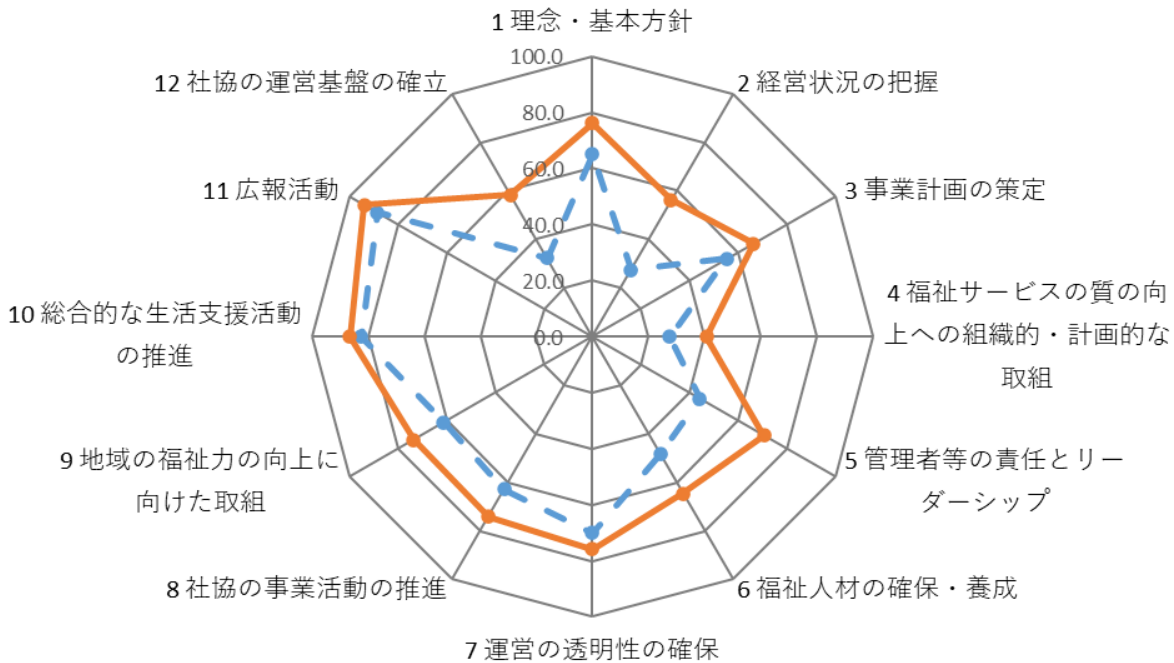
A社協の事業活動の推進について

● R3 割合(a/b)% ● R4 割合(a/b)%



☆評価分類毎チャート

● R3 割合(a/b)% ● R4 割合(a/b)%





～ 社会福祉協議会のシンボルマーク ～

社会福祉及び社協の「社」を図案化し、「手を取り合って、
明るい、幸せな社会を建設する姿」を表現しています。

(昭和47年6月 全国社会福祉協議会 制定)